



静岡市デジタル化推進プラン
(2021→2030)
施策集

令和4年2月

(令和6年3月改定)

静岡市

大項目	中項目	小項目	新規 継続	再掲	取組事項	担当課
1. 市民の利便性向上	1-1. 行政サービスのオンライン化	1-1-1	継続		オンライン手続きの窓口機能の拡充	広報課
		1-1-2	継続		電子申請の拡充	デジタル化推進課
		1-1-3	継続		スマートシティ推進事業(ワンストップ型デジタル行政サービス等推進事業)	デジタル化推進課
		1-1-4	継続		びったりサービスの活用	デジタル化推進課、関係課
		1-1-5	継続		プレミアム付きデジタル商品券事業の実施・効果検証	商業労政課
		1-1-6	継続		オクシズの観光関連施設の予約システムの構築	中山間地振興課
		1-1-7	継続		電子図書館の運営	中央図書館
		1-1-8	継続		下水道管路施設情報のオンライン閲覧	下水道維持課
		1-1-9	新規		Web口座振替受付サービスの導入	会計室
		1-1-10	新規		水道管路情報のオンライン閲覧	水道基盤整備課
		1-1-11	-		マイナンバーカードの普及促進	デジタル化推進課、戸籍管理課
	1-2. 窓口におけるデジタル技術の活用	1-2-1	継続		行政手続ガイドの拡充	デジタル化推進課
		1-2-2	継続		スマート区役所の推進	デジタル化推進課
		1-2-3	継続		キャッシュレス決済の導入及び拡充	会計室、関係課
	1-3. 効果的な危機管理情報の提供	1-3-1	継続		静岡型「災害時総合情報サイト」構築事業	危機管理総室
		1-3-2	継続		災害関連情報デジタルデバйд対策事業	危機管理総室
		1-3-3	新規		災害時3次元点群データ活用業務	危機管理総室
		1-3-4	新規		災害時情報通信手段整備事業	危機管理総室
		1-3-5	新規		巴川流域水位・氾濫域予測システムの構築	河川課
		1-3-6	新規		浸水センサによる浸水状況の把握	下水道計画課
	1-4. 利用者個々人が欲しいと思う情報の提供	1-4-1	継続		静岡市公式ウェブサイトの運用・保守	広報課
		1-4-2	継続		LINE公式アカウントを活用したしぞ〜かでん伝体操の普及啓発	地域リハビリテーション推進センター
		1-4-3	継続		静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむしずおか」機能追加及びLINEによる切れ目のない子育て支援情報発信	子ども未来課

大項目	中項目	小項目	新規 継続	再掲	取組事項	担当課
2.行政運営の効率化と 生産性向上	2-1. 地方公共団体情報システムの標準化	2-1-1	継続		情報システムの標準化・共通化に向けた検討	デジタル化推進課、システム管理課、システム所管課
	2-2.テレワークの推進	2-2-1	継続		在宅勤務の推進	人事課
		2-2-2	継続		サテライトオフィスの活用	人事課
		2-2-3	継続		モバイルワークの推進	デジタル化推進課
		2-3-1	継続		しずち力空間再構築事業	広報課
	2-3.効果的・効率的な業務体制の確立	2-3-2	継続		ペーパーレスの推進	総務課
		2-3-3	継続		テレビ会議システムの活用	人事課
		2-3-4	継続		RPA導入支援実装	デジタル化推進課
		2-3-5	継続		AI音声認識技術の活用	デジタル化推進課
		2-3-6	継続		庁舎内無線LAN等の整備	システム管理課
		2-3-7	継続		電子契約の活用	契約課
		2-3-8	継続		人流データ活用検討事業	観光・MICE推進課、道路計画課、デジタル化推進課、商業労政課
		2-3-9	継続		放課後児童クラブ入退室管理システムの導入	子ども未来課
		2-3-10	継続		給付費等の申請に係るクラウドサービス導入事業	幼保支援課
		2-3-11	継続		保育所等入所選考事務に係るAI入所選考システム導入事業	幼保支援課
		2-3-12	継続		市立こども園ICT化事業	こども園課
		2-3-13	継続		児童相談体制強化事業	児童相談所
		2-3-14	継続		漁港施設台帳のデジタル化	水産漁港課
		2-3-15	継続		都市計画情報デジタル化推進事業	都市計画課
		2-3-16	新規		生成AI	デジタル化推進課
		2-3-17	新規		統合型GISの導入	デジタル化推進課
		2-3-18	新規		災害時における建物被害認定調査のデジタル化	税制課
		2-3-19	新規		SMS(ショートメッセージ)を活用した催告等業務	納税課、お客様サービス課
		2-3-20	新規		災害時医療救護体制における連絡体制の確保	保健衛生医療課
		2-3-21	新規		保健所衛生台帳システムのクラウド化及びタブレットを用いた外出先からのアクセス	生活衛生課
		2-3-22	新規		施設等利用費請求審査・支払業務にかかるAI-OCR・RPA導入事業	幼保支援課
		2-3-23	新規		AI判読を用いた衛星画像のモニタリング	中山間地振興課
		2-3-24	新規		個別の教育支援アセスメント事業	学校教育課
		2-3-25	新規		学校給食費適正化事業	学校給食課
	2-3-26	-		Web会議システムの利用環境の整備	デジタル化推進課	
	2-3-27	-		人流データの可視化	商業労政課	
	2-4.デジタル活用したインフラの整備と管理	2-4-1	継続		メタバースを活用した移住促進事業	企画課
		2-4-2	継続		インフラ分野のDX推進事業	技術政策課
2-4-3		継続		道路関係データ取得活用事業	道路計画課、道路保全課	
2-4-4		継続		スマート水道メーターの導入検討・実証事業	お客様サービス課	
2-4-5		継続		清水庁舎整備事業(デジタルを活用した現清水庁舎の改修)	管財課	
2-4-6		継続		地籍調査事業(地籍整備の推進)	建設政策課	
2-4-7		継続		ICT活用工事の推進	技術政策課	
2-4-8		継続		道路施設共通データベースシステム及び道路施設管理要望システムの更新事業	道路保全課	
2-5.情報セキュリティの確保	2-5-1	継続		情報セキュリティの確保	システム管理課	

大項目	中項目	小項目	新規 継続	再掲	取組事項	担当課
3.新たな価値の創出 (スマートシティ)	3-1.スマートシティ推進体制の構築と運営	3-1-1	継続		大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業	大谷・小鹿まちづくり推進課
		3-1-2	継続	○	(再掲)スマートシティ推進事業(市民サービスDX推進事業)	デジタル化推進課
	3-2.リーディング事業の推進	3-2-1	継続		デジタル技術を活用したエネルギーの最適化	環境創造課
		3-2-2	継続		静岡市エネルギーの地産地消事業	環境創造課
		3-2-3	継続		障がい者就労アセスメントモデル事業	障害福祉企画課
		3-2-4	継続		介護現場のDXを推進する事業	介護保険課
		3-2-5	継続		清水区脳梗塞予防実証実験	保健衛生医療課
		3-2-6	継続		山間地域における遠隔医療	保健衛生医療課
		3-2-7	継続		静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクトの推進	交通政策課
		3-2-8	継続		清水駅周辺地区次世代交通導入検討事業	交通政策課
		3-2-9	継続		オープンイノベーション創出事業の推進	産業振興課
		3-2-10	継続	○	(再掲)静岡型「災害時総合情報サイト」構築事業	危機管理総室
		3-2-11	継続	○	(再掲)災害関連情報デジタルデバッド対策事業	危機管理総室
		3-2-12	継続	○	(再掲)メタバースを活用した移住促進事業	企画課
		3-2-13	継続	○	(再掲)市立こども園ICT化事業	こども園課
		3-2-14	継続	○	(再掲)児童相談体制強化事業	児童相談所
		3-2-15	継続	○	(再掲)プレミアム付きデジタル商品券事業の実施・効果検証	商業労政課
		3-2-16	継続	○	(再掲)スマート水道メーターの導入検討・実証事業	お客様サービス課
		3-2-17	継続	○	(再掲)電子図書館の運営	中央図書館
		3-2-18	新規	○	(再掲)災害時医療救護体制における連絡体制の確保	保健衛生医療課
		3-2-19	-		静岡市中央卸売市場将来構想策定事業	中央卸売市場
	3-3.オープンデータの推進とデータ活用の推進	3-3-1	継続		オープンデータの推進	デジタル化推進課
		3-3-2	継続		データ活用事例の創出検討	デジタル化推進課
		3-3-3	継続		オクシズ市営温泉デジタルマーケティング事業	中山間地振興課
		3-3-4	継続		3D都市モデル構築業務等	都市計画課、市街地整備課
		3-3-5	継続		3次元データを活用したまちづくりの推進(静岡駅北口地上レーザ測量事業等)	市街地整備課
		3-3-6	継続	○	(再掲)インフラ分野のDX推進事業	技術政策課
		3-3-7	継続	○	(再掲)人流データ活用検討事業	観光・MICE推進課、道路計画課、デジタル化推進課、商業労政課
		3-3-8	新規		大学と連携したKDB(国保データベース)等の分析による糖尿病発症予防に向けた取組	健康づくり推進課
		3-3-9	新規		ブルートランスフォーメーション推進事業	海洋文化都市政策課
		3-3-10	新規	○	(再掲)災害時3次元点群データ活用業務	危機管理総室
		3-3-11	新規	○	(再掲)統合型GISの導入	デジタル化推進課
		3-3-12	-	○	(再掲)人流データの可視化	商業労政課

大項目	中項目	小項目	新規 継続	再掲	取組事項	担当課
4.地域が抱える社会課題の解決	4-1.企業向けデジタル支援の実施	4-1-1	継続		中小企業のDX化に向けたIT活用支援	産業振興課
		4-1-2	継続		中小企業デジタル活用事業補助金	産業振興課
		4-1-3	継続		スタートアップ協業等促進事業	産業振興課
		4-1-4	継続		農業先端技術導入支援事業補助金	農業政策課
		4-1-5	新規		ウェアラブル端末等を用いた糖尿病発症予防サービス導入支援の取組	健康づくり推進課
		4-1-6	新規		越境EC導入支援事業	産業振興課
		4-1-7	-		いきいき森林づくり推進事業	中山間地振興課
	4-2.テレワーク等を活用する企業の誘致の推進	4-2-1	継続		お試しテレワーク体験事業	企画課
		4-2-2	継続		都市型産業立地促進事業	産業振興課
		4-2-3	継続		MoveToしずおか「新しいビジネス様式」支援事業	産業振興課
	4-3.中山間地域における光回線整備	4-3-1	継続		光回線整備による未整備地域の解消、中山間地のデジタル支援	デジタル化推進課
	4-4.情報リテラシーの向上	4-4-1	継続		高齢者向けの情報リテラシー向上事業の実施	デジタル化推進課
		4-4-2	継続		生涯学習施設におけるデジタルデバイドの解消を目的とした講座等	生涯学習推進課
	5.デジタル人材の確保と育成	5-1.行政のデジタル人材の確保と育成	5-1-1	継続		デジタル人材の育成①
5-1-2			継続		デジタル人材の育成②	デジタル化推進課、総務課
5-1-3			継続		専門デジタル人材の確保の検討	デジタル化推進課
5-1-4			継続	○	(再掲)インフラ分野のDX推進事業	技術政策課
5-1-5			新規	○	(再掲)災害時3次元点群データ活用業務	危機管理総室
5-2.デジタルを活用した子どもの教育		5-2-1	継続		GIGAスクール構想の推進(小中学校におけるICT教育環境整備)	教育センター
		5-2-2	継続	○	(再掲)電子図書館の運営	中央図書館

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール		予算額 (千円)	事業評価		
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績
1	1	1	オンライン手続きの窓口機能の拡充	市長公室	広報課	継続	国内で最も普及しているSNSであるLINEについて、プッシュ型の情報発信だけでなく、関係課と協力し、オンライン手続きの窓口としてのLINE公式アカウントの機能を拡充する。	×	×	×	×	LINE公式アカウント友だち登録者数:12万人	R3	○	導入準備	990	○	導入準備完了
													R4	◎	稼働開始・運用・保守	1,716	◎	稼働開始、友だち登録者数10万人突破
													R5	→	運用・保守	1,914	◎	稼働開始、友だち登録者数11万人突破
													R6	→	運用・保守	2,310		
													R7	→	運用・保守			
													R8	→	運用・保守			
1	1	2	電子申請の拡充	企画局	デジタル化推進課	継続	行政手続のオンライン化による市民の利便性向上や業務効率化に向けて、申請件数や内容等からオンライン化の効果が高い手続の調査を行い、電子申請システムを活用したオンライン化を順次進めていく。	×	○	×	×	デジタル窓口機能の追加、オンライン化の効果が高い手続の調査実施(R5)	R3	◎	新電子申請システムの導入及び手続移行	13,365	◎	新電子申請システムを導入、旧電子申請から必要な手続をすべて移行
													R4	◎	公的個人認証サービスによる本人確認機能、オンライン決済機能の追加	132	○	公的個人認証サービスによる本人確認機能を導入
													R5	◎	デジタル窓口機能の追加、オンライン化の効果が高い手続の調査実施	1,122	◎	デジタル窓口機能の追加、オンライン化の効果が高い手続の調査実施
													R6	→	行政手続のオンライン化の推進	1,188		
													R7	→	行政手続のオンライン化の推進			
													R8	→	行政手続のオンライン化の推進			
1	1	3	スマートシティ推進事業(ワンストップ型デジタル行政サービス等推進事業)	企画局	デジタル化推進課	継続(変更)	庁内の複数システムを連携し、情報の一元管理とサービス間連携を実現する「統合データ基盤(仮称)」の導入に向けて、今後の庁内全体のシステムの在り方の検討を行い、業務の効率化と市民サービスの向上につなげる。	○	×	○	○	実施した実証事業の数16件(R8)	R3	△	スマートシティに関するワークショップ	0	○	スマートシティ事業の機運醸成
													R4	△	庁内WG、分野別WGによる協議	20,400	○	推進主体の設立、ビジョンの策定
													R5	○	推進体制の運営、実証事業の実施	62,604	○	推進体制の運営、実証事業の実施
													R6	→	統合データ基盤(仮称)の概念設計	30,438		
													R7		スマートシティ推進協議会の運営			
													R8					
1	1	4	びったりサービスの活用	企画局ほか	デジタル化推進課関係課	継続	自治体DX推進計画において「特に市民の利便性向上に資する」とされている子育て・介護関係をはじめとした各種手続について、マイナポータルのびったりサービスを活用することによるオンライン化を推進するため、業務フローの見直しやシステム改修等の検討を関係部署と行う。	×	×	×	×	子育て関係15手続及び介護関係11手続におけるオンライン手続の運用開始(R5)	R3	-	-		-	-
													R4	◎	申請管理システムの構築	60,000	◎	申請管理システムの構築完了見込み
													R5	◎	子育て・介護関係26手続の運用開始	9,500	◎	子育て・介護関係26手続の運用開始
													R6	→	オンライン手続の拡充	10,004		
													R7	→	オンライン手続の拡充			
													R8	→	オンライン手続の拡充			
1	1	5	プレミアム付きデジタル商品券事業の実施・効果検証	経済局商工部	商業労政課	継続	物価高騰等の影響を受ける市内生活者の消費を下支えするため、プレミアム付きデジタル商品券を発行する。電子(スマホアプリ)での発行を行うことで、事業者・市民のデジタル化を図るとともに、データを収集・効果検証等を行い、今後の施策に活かしていく。	×	×	×	×	デジタル商品券の発行・データ収集・効果検証を実施(令和6年度内)	R3	-	-		-	-
													R4	-	-		-	-
													R5	△	予算要求・実施準備	0	△	収集データの検討実施
													R6	○	実施準備・商品券の発行・データ収集	835,000		
													R7					
													R8					

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール		予算額 (千円)	事業評価		
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績
1	1	6	オクシズの観光関連施設の予約システムの構築 (計9施設:中山間地振興課、スポーツ振興課、井川支所、井川自然の家)	経済局 農林水産部	中山間地振興課	継続	オクシズ地域に所在する観光関連施設9施設のインターネット利用予約システムを運営し、利用者の利便性向上及び施設管理者側の事務の効率化を図る。	×	×	×	×	システム構築の完了 (R4)	R3	—	—	—	—	
								×	×	×	×		R4	◎	システム構築	5,600	◎	システム構築の完了
								×	×	×	×		R5	→	稼働	1,320	→	稼働
								×	×	×	×		R6	→	稼働	1,782		
								×	×	×	×		R7					
								×	×	×	×		R8					
1	1	7	電子図書館の運営	教育局	中央図書館	継続	図書館電算システムの更改に伴い、新たに電子図書館機能(電子書籍の貸出を行うための機能)を搭載することで、誰もが情報を入手しやすく、市民の暮らしや仕事、まちづくりに役立つ図書館の実現を図る。	○	×	○	×	電子書籍所蔵数: 4,450点(R8)	R3	△	電子図書館導入に向けた調査・検討	0	△	他市の導入状況調査
								○	×	○	×		R4	△	電子図書館導入に向けた調査・検討	0	△	市民の意向調査、購入コンテンツの検討
								○	×	○	×		R5	◎	電子図書館整備完了、運用開始	5,270	◎	電子図書館整備完了、運用開始
								○	×	○	×		R6	→	運用管理、コンテンツ追加	9,656		
								○	×	○	×		R7	→	運用管理、コンテンツ追加			
								○	×	○	×		R8	→	運用管理、コンテンツ追加			
1	1	8	下水道管路施設情報のオンライン閲覧	上下水道局 下水道部	下水道維持課	継続	下水道台帳システムのインターネット公開への要望が非常に高まっている。インターネット閲覧が可能になることにより、市民サービスの向上が図られ、現在の窓口での台帳システムの職員対応とWEB申請受付での職員対応の業務負担の軽減が図られる。令和5年度に下水道台帳システムをインターネット公開するためのポータルサイトを構築する。	×	×	×	×	オンライン閲覧運用開始 (R6)	R3	—	—	—	—	
								×	×	×	×		R4	—	—	—	—	
								×	×	×	×		R5	○	オンライン閲覧構築	5,632	◎	オンライン閲覧の構築の完了 運用開始
								×	×	×	×		R6	◎	運用	3,036		
								×	×	×	×		R7					
								×	×	×	×		R8					
1	1	9	Web口座振替受付サービスの導入	会計室	会計室	新規	Web上で税金等の口座振替の新規申請手続きができるサービスを導入し、利用者の利便性の向上を図る。	×	×	×	×	サービス利用率40% (R12)	R3	—	—	—	—	
								×	×	×	×		R4	—	—	—	—	
								×	×	×	×		R5	△	Web口座振替受付サービス導入に向けた調査、研究	0	△	Web口座振替受付サービス導入に向けた調査、研究
								×	×	×	×		R6	◎	Web口座振替受付サービスの導入	15,400		
								×	×	×	×		R7	→	Web口座振替受付サービスの運用			
								×	×	×	×		R8	→	Web口座振替受付サービスの運用			
1	1	10	水道管路情報のオンライン閲覧	上下水道局 水道部	水道基盤整備課	新規	デジタル化の取組みとして、水道マッピングシステムのオンライン閲覧が候補としてあげられる。オンライン閲覧が可能になることにより、市民が情報にアクセスしやすくなり、来庁が不要となることで庁舎の駐車場の混雑が緩和され、窓口やWEBでの職員対応の業務負担の軽減が図られる。令和7年度にオンライン閲覧のためのシステムを構築する。	×	×	×	×	オンライン閲覧運用開始 (R8)	R3	—	—	—	—	
								×	×	×	×		R4	—	—	—	—	
								×	×	×	×		R5	—	—	—	—	
								×	×	×	×		R6	△	情報収集	0		
								×	×	×	×		R7	○	オンライン閲覧構築			
								×	×	×	×		R8	◎	運用開始			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価	
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況
1	1	11	マイナンバーカードの普及促進	企画局ほか	デジタル化推進課 戸籍管理課	-	(マイナンバーカードの普及促進から活用の段階に移したため、削除予定) デジタル社会の基盤であり安全・安心で利便性の高いマイナンバーカードの普及促進を図るため、国の施策と連携し、広報紙やWebページ等各種媒体により、マイナンバーカードに関する広報活動を実施していく。	×	×	×	×	-	R3				
													R4				
													R5				
													R6				
													R7				
													R8				
1	2	1	行政手続きガイドの拡充	企画局	デジタル化推進課	継続	令和2年度に導入した行政手続きガイドの内容を随時最適化していくとともに、項目の拡大や多言語対応等の機能追加を行うことで市民サービスの向上を図る。	×	×	×	×	行政手続きガイドの閲覧者数:年間8,000人(R5)	R3	◎ 行政手続きガイドの多言語対応	1,278	◎ 行政手続きガイドの多言語対応のページ公開	
													R4	→ 行政手続きガイドの運用	1,082	◎ 行政手続きガイドの運用	
													R5	→ 行政手続きガイドの運用	1,082	◎ 行政手続きガイドの運用	
													R6	→ 行政手続きガイドの運用	1,082		
													R7	→ 行政手続きガイドの運用			
													R8	→ 行政手続きガイドの運用			
1	2	2	スマート区役所の推進	企画局	デジタル化推進課	継続	「市民の利便性向上」と「行政運営の効率化」を両立する「スマート区役所」の実現に向けて、3区合同のプロジェクトチームを編成する。プロジェクトチームでは、各関係課と連携しながら、自治体推進DX手順書及び国の共通システムを見据え、AI・RPA等の新技術導入が効果的な業務や電子申請が可能な業務等の洗い出し、整理等を行い、可能なものから順次導入を進めていく。(ひつたりサービス活用の26手続も含む)	×	○	×	×	電子申請が可能となった手続数	R3	△ ・業務の洗い出し ・新技術活用調査、電子申請等に係る調査、検討等	0	○ ・業務の洗い出し ・新技術活用調査、電子申請等に係る調査、検討等	
													R4	△ ・新技術活用調査、電子申請等の具体的作業、検証・見直し等	0	○ ・電子申請(LoGoフォーム)可能な業務について、フォームを作成	
													R5	○ ・新技術活用調査、電子申請等の一部運用、検証・見直し等	0	○ LoGoフォームでの受付開始(おくやみ窓口の予約、納付額確認書)	
													R6	○ ・新技術活用調査、電子申請等の一部運用、検証・見直し等	0		
													R7	○ ・新技術活用調査、電子申請等の一部運用、検証・見直し等			
													R8	◎ ・国の共通システム(基幹系業務情報システム)と連動した新技術活用、電子申請等の運用開始			
1	2	3	キャッシュレス決済の導入及び拡充	会計室ほか	会計室関係課	継続	市の窓口等における行政手数料等の納付のうち、不特定多数の個人からの収入について、業務フローの構築やクレジットカード等サービスの種類等の検討を行い、キャッシュレス決済の導入及び拡充を進めていく。	×	○	×	×	キャッシュレス決済の導入窓口・施設数、累計(R12)	R3	△ 窓口におけるキャッシュレス決済導入に向けた調査、研究	0	△ R4窓口におけるキャッシュレス決済導入業務の仕様書作成	
													R4	◎ 窓口におけるキャッシュレス決済導入	41,815	◎ 区役所、市役所、支所及び文化施設等にキャッシュレス決済導入済	
													R5	○ 窓口におけるキャッシュレス決済拡充	95,671	○ 5年度導入予定の3所管課において、契約済み、施設で今後、稼働予定	
													R6	→ 窓口におけるキャッシュレス決済拡充	42,309		
													R7	→ 窓口におけるキャッシュレス決済拡充			
													R8	→ 窓口におけるキャッシュレス決済拡充			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価			
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績	
1	3	1	静岡型「災害時総合情報サイト」構築事業	危機管理総室	危機管理総室	継続	令和3年4月から運用を開始した、「災害情報共有システム(SUNPUシステム)」が保有している避難所の開設情報や避難に関する情報を、市民に対して分かりやすく提供するため、「防災情報ポータルサイト」を構築し、令和5年度から運用を開始する。 市民が必要とする情報を一元かつ総合的に提供するため、行政だけでなく、市民から身の回りの被害状況等を提供いただくことで、迅速な被害情報の収集と集約化につなげるとともに、被害情報に加え、物資の提供、災害ごみの撤出方法等を地図画面で提供できる双方向のシステムとして「静岡型災害時総合情報サイト」を構築し、令和6年10月から運用を開始する。	○	○	○	×	・SUNPUシステムの運用開始(R3年4月) ・防災情報ポータルサイトの運用開始(R5年4月) ・災害時総合情報サイトの運用開始(R7年1月)	R3	◎	SUNPUシステムの運用開始	48,000	◎	SUNPUシステムを構築し、運用開始。年に1度の職員向け操作研修を実施するとともに、訓練や実災害での対応に活用	
													R4	◎	防災情報ポータルサイトの構築・運用開始(R5.4~)	4,730	◎	防災情報ポータルサイトの構築及び検証を実施	
													R5	◎	・静岡型「災害時総合情報サイト」構築検討	15,480	◎	静岡型「災害時総合情報サイト」構築検討の完了	
													R6	◎	・静岡型「災害時総合情報サイト」の構築・運用開始(R7年1月~)	270,000			
													R7	→	サイトの改善、周知活動の継続実施				
													R8	→	サイトの改善、周知活動の継続実施				
													R3	-	-				
													R4	-	-				
1	3	2	災害関連情報デジタル化対応策事業	危機管理総室	危機管理総室	継続	災害発生時に全ての市民が気象情報や緊急情報、被災者支援情報などの災害関連情報を途切れなく取得できるよう、災害時に開設する拠点避難所(風水害緊急避難場所)及びその避難所全258か所に、災害関連情報を表示したモニターを設置する。	○	○	○	×	各設置施設に配置完了・運用開始(R5.7~)	R3	-	-			-	-
													R4	-	-			-	-
													R5	◎	各設置施設に配置完了・運用開始	19,000	○	各施設及び防災倉庫に配置完了	
													R6	→	継続	0			
													R7						
													R8						
													R3	-	-				
													R4	-	-				
1	3	3	災害時3次元点群データ活用業務	危機管理総室	危機管理総室	新規	災害の初期において迅速に被害情報の把握を行うために、ドローンや点群データ、GISを職員で収集・分析できる体制を構築することで、早期の外部機関への応援要請や情報提供、人命救助や応急復旧の迅速化・効率化を実現する。	○	×	×	○	実装(R7.1~)	R3	-	-			-	-
													R4	-	-			-	-
													R5	-	-			-	-
													R6	◎	ドローン等資機材の整備、データ活用環境の構築、職員の人材育成	20,000			
													R7						
													R8						
													R3	-	-				
													R4	-	-				
1	3	4	災害時情報通信手段整備事業	危機管理総室	危機管理総室	新規	災害情報を迅速に収集するとともに、災害対応方針等を速やかに伝達することで、適時適切な災害対応につなげるため、機能面、将来性、強靭性に優れた新たな情報収集・伝達手段を導入する。	○	×	×	×	端末調達、回線契約、運用開始(R6)	R3	-	-			-	-
													R4	-	-			-	-
													R5	△	災害時情報伝達手段検討業務	2,000	△	災害時情報伝達手段検討業務の完了	
													R6	◎	公共安全モバイルシステムの端末調達、回線契約、運用開始	28,590			
													R7	→	公共安全モバイルシステムの運用				
													R8	→	公共安全モバイルシステムの運用				
													R3	-	-				
													R4	-	-				
1	3	5	巴川流域水位・氾濫域予測システムの構築	建設局土木部	河川課	新規	気象予報、雨量、河川水位等を基に、水位・氾濫域を予測する危険度情報提供システムを構築し、市民の生命・財産を守る行動につながる防災情報を提供する。	○	×	○	○	システムの運用開始(R7)	R3	-	-			-	-
													R4	-	-			-	-
													R5	△	システムの導入検討及びパイロット版の構築	50,000	△	研究会を開催し、研究結果を踏まえたパイロット版を構築	
													R6	○	パイロット版の精度向上、動作検証・改良	100,000			
													R7	◎	システム実装				
													R8	→	システム運用				
													R3	-	-				
													R4	-	-				

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール			予算額(千円)	事業評価	
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目	内容		進捗状況	事業実績
1	3	6	浸水センサによる浸水状況の把握	上下水道局 下水道部	下水道計画課	新規	令和4年台風15号による浸水エリアを対象に浸水センサを設置し、構築する浸水情報システムについては災害時総合情報サイトを用いて情報発信する	×	×	×	×	浸水情報について災害時総合情報サイトを用いた情報発信(R6)	R3	—	—	/	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	△	調査、検討	7,667	△	調査、検討
													R6	◎	センサ設置、システム構築	70,000		
													R7					
													R8					
1	4	1	静岡市公式ウェブサイトの運用・保守	市長公室	広報課	継続	時間と場所を選ばずに(条件:インターネットに繋がる環境)静岡市の情報を閲覧できる市公式ウェブサイトの運用・保守事業。ウェブアクセシビリティの遵守や、利用者目線に立った更新や見直しを行う。	○	○	×	×	意識調査で市公式ウェブサイトの不備による情報未取得割合10%以下(R8)	R3	△	リニューアル検討・準備	0	△	リニューアル検討・準備
													R4	△	リニューアル検討・準備	0	△	リニューアル検討・準備
													R5	◎	契約、構築、新公式ウェブサイト稼働	67,000	◎	プロポーザル公募、ウェブサイト構築
													R6	→	運用・保守	15,309		
													R7	→	運用・保守			
													R8	→	運用・保守			
1	4	2	LINE公式アカウントを活用したしずおかでん伝体操の普及啓発	保健福祉長寿局 健康福祉部	地域リハビリテーション推進センター	継続	地域リハビリテーション推進センターLINE公式アカウント登録者に、介護予防体操動画「自宅で体操！動画を見ながらトレーニング」や介護予防に関する情報等を配信する。	○	×	×	×	体操動画配信46本 情報発信24回(R5)	R3	◎	LINE公式アカウント運用 介護予防体操動画配信	14,608	◎	LINE公式アカウント登録者数1,086人 36本の介護予防体操動画配信
													R4	→	継続	9,960	→	LINE公式アカウント登録者数1,426人 32本の介護予防体操動画配信
													R5	→	継続	2,288	→	LINE公式アカウント登録者数1,873人 46本の介護予防体操動画配信予定
													R6	→	継続	2,049		
													R7					
													R8					
1	4	3	静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむしずおか」機能追加及びLINEによる切れ目のない子育て支援情報発信	子ども未来局	子ども未来課	継続	静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむしずおか」インターフェースデザインの改善及び子ども向けイベント情報検索機能、預かり施設・サービス検索機能等の機能拡充を行う。 妊娠期～満3歳までの間、妊娠週数や月齢に応じた子育て支援情報や行政情報を静岡市公式LINEアカウントから継続して配信する「しずおかさずなLINE」事業を実施する。	○	×	×	×	・ちゃむしずおかPV数:67,400/月 ・しずおかさずなLINE登録者数:2,800人、 利用満足度:80%以上(R8)	R3	—	—	/	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	◎	導入、配信開始(10月～予定)	7,847	◎	導入、配信開始(10月～)
													R6	→	継続	2,457		
													R7	→	継続			
													R8	→	継続			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価		
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績
2	1	1	情報システムの標準化・共通化に向けた検討	企画局ほか	デジタル化推進課 システム管理課 システム所管課	継続	基幹系20業務システムについて、国の策定する標準仕様に準拠したシステムへの移行に向けて、標準準拠システム等に関する情報収集、業務フローの見直し、移行スケジュールの調整等を行っていく。	×	×	×	×	基幹系20業務システムの標準準拠システムへの移行(移行困難システムを除く。)(R7)	R3	△	推進体制案の検討・作成	0	△	推進体制案の作成
													R4	→	推進体制立ち上げ及び移行準備	19,360	△	推進体制立ち上げ
													R5	→	移行準備	93,144	△	Fit&Gap等の実施
													R6	→	移行準備	452,674		
													R7	◎	標準準拠システムへの移行			
													R8					
													R3	○	在宅勤務の試行実験を実施(自治体テレワークシステムを活用)	0	○	自治体テレワークシステムの利用希望者に対して、アカウント付与を実施
													R4	◎	在宅勤務の本格導入(自治体テレワークシステム for LGAWANを活用)	0	◎	自治体テレワークシステムの利用希望者に対して、3期に分けてアカウント付与を実施
R5	→	在宅勤務の実施(自治体テレワークシステム for LGAWANを活用)	0	→	自治体テレワークシステムの利用希望者に対して、2期に分けてアカウント付与を実施													
R6	→	在宅勤務の実施(自治体テレワークシステム for LGAWANを活用)	0															
R7	→	在宅勤務の実施(リモートアクセスシステムを活用)																
R8	→	在宅勤務の実施(リモートアクセスシステムを活用)																
2	2	1	在宅勤務の推進	総務局	人事課	継続	多様で柔軟な働き方の確保・生産性を重視した働き方の推進・新しい生活様式の1つとして、職員の自宅において、専用端末又は私用端末により、庁内システムにアクセスすることができる環境で、勤務を実施する。	×	○	×	×	在宅勤務を実施しようとした者のうち、実施できた職員の割合:84%(R8)	R3	○	在宅勤務の試行実験を実施(自治体テレワークシステムを活用)	0	○	自治体テレワークシステムの利用希望者に対して、アカウント付与を実施
													R4	◎	在宅勤務の本格導入(自治体テレワークシステム for LGAWANを活用)	0	◎	自治体テレワークシステムの利用希望者に対して、3期に分けてアカウント付与を実施
													R5	→	在宅勤務の実施(自治体テレワークシステム for LGAWANを活用)	0	→	自治体テレワークシステムの利用希望者に対して、2期に分けてアカウント付与を実施
													R6	→	在宅勤務の実施(自治体テレワークシステム for LGAWANを活用)	0		
													R7	→	在宅勤務の実施(リモートアクセスシステムを活用)			
													R8	→	在宅勤務の実施(リモートアクセスシステムを活用)			
													R3	→	実施(継続)(静岡庁舎に1箇所)	0	→	静岡庁舎のサテライトオフィスを活用した勤務を実施
													R4	→	実施(継続)(静岡庁舎に1箇所)	0	→	静岡庁舎のサテライトオフィスを活用した勤務を実施
R5	→	実施(継続)(静岡庁舎に1箇所)	0	→	静岡庁舎のサテライトオフィスを活用した勤務を実施													
R6	→	実施(継続)、市政PC更改を踏まえたサテライトオフィス環境の再検討・再検討後の環境整備	0															
R7	→	実施(継続)																
R8	→	実施(継続)																
2	2	2	サテライトオフィスの活用	総務局	人事課	継続	勤務地以外の庁舎における勤務場所を確保し、仕事の負を維持しながら、職員の生産性の向上及びワークライフバランスの充実に図るため、静岡庁舎に設置したサテライトオフィスの活用を推進する。	×	○	×	×	実施(継続)	R3	→	実施(継続)(静岡庁舎に1箇所)	0	→	静岡庁舎のサテライトオフィスを活用した勤務を実施
													R4	→	実施(継続)(静岡庁舎に1箇所)	0	→	静岡庁舎のサテライトオフィスを活用した勤務を実施
													R5	→	実施(継続)(静岡庁舎に1箇所)	0	→	静岡庁舎のサテライトオフィスを活用した勤務を実施
													R6	→	実施(継続)、市政PC更改を踏まえたサテライトオフィス環境の再検討・再検討後の環境整備	0		
													R7	→	実施(継続)			
													R8	→	実施(継続)			
													R3	○	モバイルワーク実証	7,919	○	13所属での実証を実施(12か月)
													R4	○	モバイルワーク実証及び方針検討	3,960	○	19所属での実証を実施(6か月)
R5	◎	モバイルワーク導入	0	◎	導入完了(自治体テレワークシステム for LGAWANを活用)													
R6	→	実施(継続)	0															
R7	→	実施(継続)																
R8	→	実施(継続)																
2	3	1	しずちカ空間再構築事業	市長公室	広報課	継続	JR静岡駅北口地下広場に設置されている「しずちカ」(市政情報発信コーナー、しずちカ茶店一茶)を隣接するイベントスペース、壁面の大型看板を含め空間全体で効果的な情報発信を可能とする新たな情報発信拠点にリニューアルするのを契機に、壁面大型看板をデジタルサイネージ化し、合わせて地下空間の柱にデジタルサイネージ看板を設置し、即時性の高い市政情報発信を可能とする。	○	○	×	×	しずちカ年間来場者数:100,000人(R8)	R3	○	新たに追加する機能検証実験	20,000	○	しずちカリニューアルの方向性(最終形)案を作成
													R4	○	最終シミュレーション実験、改修計画策定	19,000	○	しずちカリニューアルの方向性及び改修計画の確定
													R5	○	仮リニューアル営業、一部改修工事	19,300	△	今後予定される都市デザインを踏まえ、一部改修工事を実施
													R6	○	仮営業			
													R7	◎	改修工事、全面リニューアル			
													R8	→				

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価		
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績
2	3	2	ペーパーレスの推進	総務局	総務課	継続	ペーパーレスの推進のため、公文書の電子化や電子データの保存ルールを明確化し、周知するとともに、各局の紙使用量の前年比削減目標を定め、各局に目標達成に向けた取組みを求める。	×	○	×	×	庁内のコピー用紙使用量(箱):16,000箱(R8)	R3	△	・公文書の順次電子化 ・ペーパーレス会議の検討及び検証	2,081	△	・文書管理システムにおける市長・副市長決裁の電子決裁化実施 ・ペーパーレス会議の実施に向け、各フロアヘモニタを設置 ・外部手続きに係る押印見直し
													R4	○	・公文書の順次電子化 ・ペーパーレス会議への移行	0	○	・財務会計システムにおける市長・副市長決裁の電子決裁化実施 ・局長会議等、局次長以上の職員が参加する会議のペーパーレス化実施 ・ペーパーレス会議実施のための手引書作成
													R5	○	・公文書の電子化や電子データの保存ルールの整備に向けた検討 ・公文書の電子化や電子データの保存ルールの周知 ・各局の紙使用量の削減目標の設定	0	○	・全庁ファイルサーバ(いわゆる共有フォルダ)の運用マニュアルの作成 ・会議や打合せは原則ペーパーレスで実施 ・各局のA4コピー用紙購入箱数目標の設定 ・公文書以外の紙文書の削減 ・内部押印の見直し
													R6	→	・公文書の電子化に伴うルール整備のための検討 ・公文書電子化に向けた職員への啓発 ・紙使用量削減目標達成に向けた各局取組の実施	0		
													R7	→	・公文書の電子化に伴うルール整備 ・公文書電子化に向けた職員への啓発 ・紙使用量削減目標達成に向けた各局取組の実施			
													R8	→	・公文書の電子化に伴うルール整備 ・公文書電子化に向けた職員への啓発 ・紙使用量削減目標達成に向けた各局取組の実施			
2	3	3	テレビ会議システムの活用	総務局	人事課	継続	仕事の質を維持しながら、職員が移動することなく、各庁舎間で満足なコミュニケーションを図るため、各庁舎に導入したテレビ会議システムの活用を推進する。	×	×	×	×	実施(継続)	R3	→	実施(継続)(各庁舎に専用端末1台・市長公室に大型専用端末1台)	3,095	→	テレビ会議システムを活用した会議・打合せ等を実施
													R4	→	実施(継続)(各庁舎に専用端末1台・市長公室に大型専用端末1台)	3,172	→	テレビ会議システムを活用した会議・打合せ等を実施
													R5	→	実施(継続)(各庁舎に専用端末1台・市長公室に大型専用端末1台)	3,187	→	テレビ会議システムを活用した会議・打合せ等を実施
													R6	→	実施(継続)(各庁舎に専用端末1台・市長公室に大型専用端末1台)	3,187		
													R7	→	実施(継続)(各庁舎に専用端末1台・市長公室に大型専用端末1台)			
													R8	→	実施(継続)(各庁舎に専用端末1台・市長公室に大型専用端末1台)			
2	3	4	RPA導入支援実装	企画局	デジタル化推進課	継続	既存の定型的なPC操作が必要な業務に関して、RPAの導入可否を検討し、費用対効果が見込まれる業務に対しては、業務プロセスの見直しとRPAの導入支援を行う。	×	×	×	×	RPAの新規導入業務数:2業務(R5)	R3	◎	新規RPAを1業務に導入、既存RPAの運用	6,445	◎	新規RPAを1業務に導入
													R4	◎	新規RPAを1業務に導入、既存RPAの運用	4,731	◎	新規RPAを2業務に導入
													R5	◎	新規RPAを2業務に導入、既存RPAの運用	5,467	◎	新規RPAを3業務に導入
													R6	◎	新規RPAを3業務に導入、既存RPAの運用	4,902		
													R7	→	RPAの新規業務への導入、既存RPAの運用			
													R8	→	RPAの新規業務への導入、既存RPAの運用			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール			予算額(千円)	事業評価	
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目	内容		進捗状況	事業実績
2	3	5	AI音声認識技術の活用	企画局	デジタル化推進課	継続	議事録作成に係る業務の効率化を図るため、AI音声認識技術による音声テキスト化サービスの導入に向け、効果検証を行い、全庁導入を進める。	×	×	×	×	音声テキスト化サービスを利用した議事録作成数:200件以上(R5)	R3	△	音声テキスト化サービスの効果検証	0	△	音声テキスト化サービスの効果検証
													R4	△	音声テキスト化サービスの庁内のニーズ調査の実施	0	△	音声テキスト化サービスの庁内のニーズ調査の実施
													R5	◎	音声テキスト化サービスの導入及び効果測定	792	◎	音声テキスト化サービスの導入及び効果測定
													R6	→	音声テキスト化サービスの運用	660		
													R7	→	音声テキスト化サービスの運用			
													R8	→	音声テキスト化サービスの運用			
2	3	6	庁舎内無線LAN等の整備	企画局	システム管理課	継続	職員が多様で柔軟な働き方ができる環境を実現し、業務の効率化を図るため、庁舎内の無線LAN等を整備する。	×	×	×	×	各庁舎における市政総合ネットワークの無線LAN環境の整備	R3	◎	無線LAN通信環境の一部構築、運用及び整備検討	125,000	◎	新館3、8、9、11、17階、本館3、4階に構築
													R4	◎	無線LAN通信環境の一部構築、運用及び整備検討	200,000	◎	静岡庁舎(上記フロア以外)、城東保健福祉エリアに構築
													R5	◎	無線LAN通信環境の一部構築、運用及び整備検討	15,600	◎	駿河区役所、消防庁舎に構築
													R6	→	運用及び整備検討	0		
													R7	→	運用及び整備検討			
													R8	→	運用及び整備検討			
2	3	7	電子契約の活用	財政局 財政部	契約課	継続	現在、本市の契約手続きは、契約課及び各課窓口にて受付、紙書式のみで契約書を作成している。クラウドを活用した契約及び契約書の管理を行うことで、契約関係におけるデジタル化を進める。	×	○	×	×	・一部業務において電子契約導入(R5) ・対象業務の拡大の検討(R6~8)	R3	-	-	-	-	-
													R4	△	実証実験の実施、予算要求	0	△	実証実験の実施、予算要求
													R5	○	契約締結、例規整備、業者向け研修、一部業務の実施	1,683	○	建設工事及び建設業関連業務委託における電子契約導入済み
													R6	○	業者向け研修、実績評価、対象業務の拡大の検討	8		
													R7	○	実績評価、対象業務の拡大の検討			
													R8	○	実績評価、対象業務の拡大の検討			
2	3	8	人流データ活用検討事業	観光交流文化局 建設局道路部 企画局 経済局商工部	観光・MICE推進課 道路計画課 デジタル化推進課 商業労政課	継続	まちなかに設置した複数のWi-Fiパケットセンサー等を用いて、量や移動、時間のデータから、まちなかで人の動きを把握する方法を確立し、まちの活性化に向けたデジタルデータ活用を推進する。	×	×	○	×	活用実施(R8)	R3	△	データの活用可能性の検証	0	△	実証実験によりデータ活用の可能性を確認
													R4	△	活用体制の検討	6,000	△	企業対象のヒアリング調査を実施
													R5	△	活用体制の組織化の検討	8,505	○	観光庁補助金を獲得し、データ取得・分析・活用の実証体制を整備
													R6	○	体制組織の組成	8,264		
													R7	○	データ取得のための基盤整備			
													R8	◎	データ活用の運用開始			
2	3	9	放課後児童クラブ入退室管理システムの導入	子ども未来局	子ども未来課	継続	公設放課後児童クラブに入退室管理システム、タブレット導入を行う。 児童の入退室情報管理、保護者への入退室通知、保護者とクラブの連絡、出欠予定・実績管理等を行い、保護者の利便性や安心感の向上、クラブ現場職員の事務負担軽減に寄与する。	×	×	×	×	・市内全公設放課後児童クラブへのシステム導入の完了 ・保護者の利用満足度の向上	R3	-	-	-	-	-
													R4	◎	導入準備、運用開始	46,500	○	導入準備
													R5	→	継続	8,384	◎	運用開始
													R6	→	継続	8,384		
													R7	→				
													R8	→				

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価			
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績	
2	3	10	給付費の申請に係るクラウドサービス導入事業	子ども未来局	幼保支援課	継続	各私立園からの給付請求事務について、共通の給付事務等に特化したクラウドサービスを導入することにより、人為的な誤りの防止と各園との業務効率化を図るとともに、行政サービスの底上げを図る。	○	×	×	×	給付事務における人為的な誤りの防止と各施設および市の業務効率化を実現し、保育に従事する時間の拡充が実現(R8)	R3	—	—	18,480	—	—	
													R4	△	調査・検討		0	△	調査・検討
													R5	△	調査・検討・予算要求		0	△	調査・検討・予算要求実施
													R6	◎	クラウドサービス導入、運用開始				
													R7	→	クラウドサービス本格運用				
													R8	→	クラウドサービス本格運用				
2	3	11	保育所等入所選考事務に係るAI入所選考システム導入事業	子ども未来局	幼保支援課	継続	保育所等の入所選考事務について、AIシステムを導入することにより、業務効率化を図るとともに、保護者への通知の迅速化を図る。	○	×	×	×	入所選考事務における職員の業務効率化を実現し、保護者への迅速な結果通知を実現(R8)	R3	—	—	2,000	—	—	
													R4	△	調査・検討		0	△	調査・検討
													R5	△	調査・検討・予算要求		0	△	調査・検討・予算要求実施
													R6	○	AI入所選考システム実証実験				
													R7	◎	AI入所選考システム本導入				
													R8	→	AI入所選考システム本格運用				
2	3	12	市立こども園ICT化事業	子ども未来局	こども園課	継続	市立こども園全園に保育業務支援システム・Wi-Fi環境の整備・タブレット導入を行う。 園児の登降園管理、遅刻欠席連絡、連絡機等の受取りなどが専用アプリから行えるようになるため、園利用者である保護者の利便性向上という付加価値を創出する。 また、保育教諭の日誌作成といった園業務がデジタル化することにより業務負担軽減にも繋げる。	○	○	○	×	システム使用職員の事務時間削減時間数合計:64,000時間(R8)	R3	△	調査・検討	0	△	調査・検討	
													R4	△	内容検討・予算要求	0	△	R6.1~稼働に向け予算要求を行った。	
													R5	◎	R6.1 保育業務支援システム稼働開始	104,000	◎	R6.1 市立こども園等全園でシステム稼働開始	
													R6	→	システム運用、機能拡充	5,287			
													R7	→					
													R8	→					
2	3	13	児童相談体制強化事業	子ども未来局	児童相談所	継続	①児童相談一体化システムの導入事業 児童相談所と各区子育て支援課が共通の児童相談管理システムを導入することにより、体制不備による児童虐待重大事案の発生を未然に防ぐとともに、児童相談業務の効率化を図る。 ②児童相談DX推進事業 児童相談業務をDX化することで、通告時の初動対応業務、リスクアセスメント業務の組織力維持・向上を図るとともに浮いた時間を面談や電話対応に充てることで、きめ細かい支援を実現する。	○	○	○	×	・各区子育て支援課と児童相談所との情報交換に係る時間の削減時間:669時間減(虐待対応件数で換算)(R8) ・体制不備による児童虐待重大事案の発生数:0件(R8)	R3	—	—	32,692	—	—	
													R4	△	実施に向けた関係機関との検討		0	△	契約等に係る仕様書作成
													R5	◎	児童相談業務DX推進システムの開発・運用開始			◎	児童相談DX推進事業の契約締結 児童相談一体化システム機器設置業務の契約締結
													R6	◎	児童相談一体化システム運用開始		63,051		
													R7	→					
													R8	→					
2	3	14	漁港施設台帳のデジタル化	経済局 農林水産部	水産漁港課	継続	用宗・由比・西倉沢漁港等の施設情報を電子化、集約させ、機能保全やストックマネジメントの推進、各種計画の作成・更新や災害復旧への対応の効率化、他自治体との情報共有など、積極的に情報を活用し、DXによる維持管理コスト軽減を目指す。	×	×	×	×	施設台帳デジタル化完了(R11)	R3	—	—		—	—	
													R4	—	—		—	—	
													R5	—	—		—	—	
													R6	—	—		—	—	
													R7	△	調査・検討				
													R8	○	漁港施設・海岸保全施設台帳電子化				

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価		
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績
2	3	15	都市計画情報デジタル化推進事業	都市局 都市計画部	都市計画課	継続	都市計画基本図等の提供、都市計画法第53条に基づく建築許可、第58条の2に基づく地区計画の届出など、窓口業務のシームレス化の実現に向け、基本図をはじめ、都市計画図書、後退指導図及び地図情報等の整合性を検証する。 また、後退指導図等の更新・デジタル化を進め、既往の都市計画情報インターネット提供サービス等との連動を図り、より精度の高い情報を効率的に市民に提供する。	○	○	×	×	システム構築により、利便性が向上した方 割合:90% (R12)	R3	—	—	1,000	—	—
													R4	△	現状整理、事例調査		△	現状整理、事例調査、サンプル検証
													R5	△	デジタル化への検討、基本図や後退指導図等の整理		△	デジタル化への検討・整理
													R6	△	後退指導図データの更新(英区・駿河区)			
													R7	△	後退指導図データの更新(清水区)			
													R8	○	システムの構築 テスト運用(基本図・後退指導図)			
2	3	16	生成AI	企画局	デジタル化推進課	新規	今後の人口減少による労働力不足によって職員数の更なる減少が見込まれる中で、行政サービスを維持・向上するため、生成AIを構築し運用することで、職員の業務効率化を図る。	×	×	×	○	システム構築及び実証 実験(試験利用含む) 予定(R6)、運用開始 予定(R7)	R3	—	—	0	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	△	調査・検討(無償版の施行利用)		△	試行利用の実施
													R6	○	システム構築			
													R7	◎	運用開始			
													R8					
2	3	17	統合型GISの導入	企画局	デジタル化推進課	新規	個別に所有していた地図・データを連携・可視化し、庁内の横断的な情報共有が可能となり、的確かつ迅速な市民サービスを分析するシステム環境を作る。	○	×	○	○	公開型GISアクセス件数(件/年) 公開型GIS満足度	R3	—	—	0	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	△	統合型GIS導入に向けた調査・検討		△	統合型GIS導入に向けた調査・検討
													R6	◎	システム構築、データ移行、実装			
													R7	→	運用			
													R8	→	運用			
2	3	18	災害時における建物被害認定調査のデジタル化	財政局 税務部	税制課	新規	災害時における住家等の被害認定調査について、タブレット端末を用いて調査を行い、罹災証明書等の交付に係る「被災者生活再建支援システム」(導入済み)と連携することにより、より効率的な調査体制の構築と、罹災証明書交付期間の短縮化を目指す。	×	×	×	×	システムの導入及び運用開始(R6)	R3	—	—	0	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	△	システムの効果分析、予算要求等の導入準備		△	システムの効果分析、予算要求等の導入準備
													R6	◎	システム導入及び運用開始			
													R7	→				
													R8	→				
2	3	19	SMS(ショートメッセージ)を活用した催告等業務	財政局 税務部 上下水道局 経営管理部	納税課 お客様サービス課	新規	市税及び水道料金に係る督促状等の送付前後に、SMSを送付することにより、電話催告及び催告書等の発送数を削減し、人件費及び郵送に係る経費を削減する。また、SMSを活用することで、滞納期間が浅い段階で滞納者と接触を図ることができ、滞納の長期化を防ぎ、収納率の向上を図る。	×	×	×	×	SMS(ショートメッセージ)を活用した催告等業務の運用開始(R6.5~)	R3	—	—	165	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	○	導入準備・試験運用		○	導入準備・試験運用
													R6	◎	運用			
													R7	→	運用			
													R8	→	運用			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール			予算額 (千円)	事業評価	
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目	内容		進捗状況	事業実績
2	3	20	災害時医療救護体制における連絡体制の確保	保健福祉長寿局 保健衛生医療部	保健衛生医療課	新規	南海トラフ巨大地震などの大規模災害時に、医療救護活動を円滑に実施するため、災害時に医療機関や関係団体等と情報共有するための連絡体制(LINE WORKS)を整備する。	○	×	○	×	訓練の実施 年2回	R3	—	—	/	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	△	対象者へLINEWORKSの説明	0	△	対象者へLINEWORKSの説明
													R6	◎	LINEWORKSの導入及び情報伝達訓練	1,188		
													R7	→	LINEWORKSを活用した情報伝達訓練			
													R8	→	LINEWORKSを活用した情報伝達訓練			
2	3	21	保健所衛生台帳システムのクラウド化及びタブレットを用いた外出先からのアクセス	保健福祉長寿局 保健衛生医療部	生活衛生課	新規	現行の台帳管理システムの更改に伴い、システムをクラウド化することで業務継続性の向上を図るとともにタブレットPCによる外出先からのアクセスを可能にすることで、業務効率の向上を図る。	×	×	×	×	稼働(R7.4.1~)	R3	—	—	/	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	△	調査・検討	0	△	調査・検討
													R6	◎	入札、契約、導入	35,000		
													R7	◎	稼働開始			
													R8	→	運用			
2	3	22	施設等利用費請求審査・支払業務にかかるAI-OCR・RPA導入事業	子ども未来局	幼保支援課	新規	預かり保育を受けた子どもの保護者からの給付請求の確認・支払事務について、AI-OCR・RPAの導入により、業務効率化を図るとともに、保護者への支給の迅速化を図る。	○	×	×	×	預かり保育無償化に係る請求確認・支払事務の効率化を実現し、保護者への迅速な支給を実現(R8)	R3	—	—	/	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	△	調査・検討・予算要求	0	△	調査・検討・予算要求実施
													R6	◎	AI-OCR・RPAの導入、運用開始	1,252		
													R7	→	AI-OCR・RPA本格運用			
													R8	→	AI-OCR・RPA本格運用			
2	3	23	AI判読を用いた衛星画像のモニタリング	経済局 農林水産部	中山間地振興課	新規	AI判読を用いた衛星画像のモニタリングを実施し、森林の変化情報を把握する。	×	×	×	×	モニタリングによる現状把握及び指導の実施	R3	—	—	/	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	—	—	2,700	—	—
													R6	→	モニタリングの実施			
													R7					
													R8					

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価		
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績
2	3	24	個別的教育支援アセスメント事業	教育局	学校教育課	新規	特別な支援が必要な児童生徒について担任が作成する「個別的教育支援計画」を教員の経験や知識に頼りすぎることなく、すみやかに作成し、保護者を含む関係者と共有のうえ、児童生徒への支援につなげられるよう、アセスメントソフトを小中学校で活用する。	×	×	×	○	試験導入する小中学校4校において、ソフト導入の効果検証を行い、今後の方向性を決定(R6)	R3	-	-	/	-	-
													R4	-	-	/	-	-
													R5	-	-	/	-	-
													R6	○	・導入校(小中学校)4校にソフトをダウンロード ・導入校においてソフトを活用(児童生徒のアセスメント、計画作成、保護者との共有、研修動画の活用、教材の活用) ・効果についてアンケートを実施 ・効果検証、今後の方向性決定	1,320		
													R7					
													R8					
													R3	-	-	/	-	-
													R4	-	-	/	-	-
2	3	25	学校給食費適正化事業	教育局	学校給食課	新規	学校給食費の適正化について、徴収管理業務のシステム化の観点から検討を行う。	×	×	×	×	学校給食費の適正化	R3	-	-	/	-	-
													R4	-	-	/	-	-
													R5	△	学校給食費の適正化を検討	0	△	学校給食費の適正化を検討
													R6	○	徴収管理システムを構築化	20,000		
													R7	◎	徴収管理システムの運用開始			
													R8	→	徴収管理システムの運用継続			
													R3	-	-	/	-	-
													R4	-	-	/	-	-
2	3	26	Web会議システムの利用環境の整備	企画局	デジタル化推進課	-	(環境整備完了のため、削除予定) Web会議システムの活用により職員の出張等に係る移動時間やコスト等の削減を図るため、令和2年度から試験導入したWeb会議システム用の貸出端末の効果検証を行うとともに、今後の運用方法や利用環境の整備を行う。	×	×	×	×	-	R3	/	/	/	/	/
													R4	/	/	/	/	/
													R5	/	/	/	/	/
													R6	/	/	/	/	/
													R7	/	/	/	/	/
													R8	/	/	/	/	/
													R3	/	/	/	/	/
													R4	/	/	/	/	/
2	3	27	人流データの可視化	経済局 商工部	商業労政課	-	(別事業(人流データ活用検討事業)に統合のため、削除予定) 主に中心市街地活性化基本計画区域内にて、人流を可視化することによって、より効果的な施策の展開や、イベントと商業の連携方策等の検討を進めていく。 また、マーケティングの基礎情報としての展開等、マネタイズも見据えていく。	×	×	×	×	-	R3	/	/	/	/	/
													R4	/	/	/	/	/
													R5	/	/	/	/	/
													R6	/	/	/	/	/
													R7	/	/	/	/	/
													R8	/	/	/	/	/
													R3	/	/	/	/	/
													R4	/	/	/	/	/

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価			
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績	
2	4	1	メタバースを活用した移住促進事業	企画局	企画課	継続	首都圏等の潜在的移住希望者のうち、従来実施している移住促進施策等ではアプローチしきれていない若年層(20代)等を主なターゲットとして、メタバースを活用した仮想移住体験等を提案し、市の魅力を発信することで、移住・交流のきっかけとし、静岡市移住支援センターでの相談や移住コンシェルジュへの相談等のほかの移住施策に繋げる。	○	×	○	×	メタバース移住イベントへの参加者数:100名(R6)	R3	—	—	10,000	—	—	
													R4	△	メタバースを活用した移住促進事業の検討		0	△	R5のメタバースを活用した移住促進事業に向けた検討
													R5	◎	メタバース空間の構築・実施			○	メタバースプラットフォーム「GAIATOWN」を導入。移住セミナー等での利用(実証実験)を開始。他所属にも活用の展開を調整中。
													R6	→	メタバースを活用した移住促進事業の実施		2,560		
													R7	→	メタバースを活用した移住促進事業の実施				
													R8	→	メタバースを活用した移住促進事業の実施				
2	4	2	インフラ分野のDX推進事業	建設局 土木部	技術政策課	継続	窓口業務から工事現場まで幅広い業務があるインフラ分野のDX推進プランに基づき、事業の推進を図る。 また、インフラDXに向けた実践的な研修として、専門研修を実施する。	○	×	○	×	・「静岡市インフラ分野のDX推進プラン」に基づいた建設局個別実施計画の策定(R6) ・専門研修実施(R6)	R3	△	デジタル先進事例の収集 インフラ分野における業務課題の把握	3,223	△	デジタル先進事例の収集 インフラ分野における業務課題の把握	
													R4	◎	静岡市インフラ分野のDX推進プラン策定	5,777	◎	静岡市インフラ分野のDX推進プラン策定	
													R5	→	プランに基づく推進事業の実施	4,000	◎	データの共有や3次元点群データの保存先の構築	
													R6	→	プランに基づく推進事業の実施 専門研修実施	8,680			
													R7	→	プランに基づく推進事業の実施 専門研修実施				
													R8	→	プランに基づく推進事業の実施 専門研修実施				
2	4	3	道路関係データ取得活用事業	建設局 道路部	道路計画課 道路保全課	継続	道路行政の質向上に活用するために公用車等から車両走行データ(GPS、加速度、画像)を取得・活用する手法について、企業・大学と共同研究を行い、現場に即したICT・IoTを実装する	×	×	○	×	運用開始(R7)	R3	△	公用車の可能性検討	7,500	△	走行実態調査により公用車の利用状況を把握、活用可能性を確認	
													R4	○	ドローンデータの活用検証	0	○	市内走行時のデータを大学のAIで解析、路面性状調査と比較検証を実施	
													R5	○	システム構築の検討	0	○	AI解析の精度向上と導入に向けたシステム設計を実施	
													R6	○	試験導入・本格導入検討	0			
													R7	◎	本格運用の開始				
													R8	→					
2	4	4	スマート水道メーターの導入検討・実証事業	上下水道局 水道部	お客様サービス課	継続	電力スマートメーター通信網を活用したスマート水道メーターの自動検針の有効性と取得データの活用方法を検討し、スマート水道メーターの導入検討を行っていく。	×	○	○	×	・指針値データ取得率:99%達成(R3) ・アタッチメント型スマート水道メーター-OCR機能における正確率:90%達成(R4~6) ・中山間地域指針値データ取得率:99%達成(R4~6) ・スマート水道メーターの一部導入及び稼働開始(R8)	R3	○	三者共同検針実証実験実施	0	○	実証実験終了	
													R4	○	静岡市における電力スマート通信網を活用した水道自動検針のアタッチメント型スマート水道メーター実証実験 静岡市における中山間地域の水道自動検針実証実験	443	○	実証実験開始	
													R5	→	上記実証実験継続	2,415	→	継続	
													R6	→	継続	401			
													R7	△	導入検討				
													R8	◎	一部導入				

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール			予算額 (千円)	事業評価	
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目	内容		進捗状況	事業実績
2	4	5	清水庁舎整備事業(デジタルを活用した現清水庁舎の改修)	財政局 財政部	管財課	新規	現清水庁舎の整備において、デジタル化推進プラン等、市の施策と連動しながら、デジタル活用によるわかりやすく手続きしやすい窓口機能、テレワーク等業務効率を高めるオフィス環境の確保等について検討し、市民にとって利便性が高い庁舎を整備する。	○	×	×	×	耐震性や設備の劣化等、現清水庁舎が抱える喫緊の課題への対応(R12)	R3	—	ポストコロナ時代に求められる清水庁舎整備の方向性を検討	12,021	△	「ポストコロナ時代に求められる清水庁舎整備の方向性」を公表
													R4	△	清水庁舎整備検討委員会を開催し、庁舎の整備方針を検討	17,981	△	清水庁舎整備検討委員会を開催し、庁舎の整備方針を決定
													R5	△	総合耐震診断等の実施	62,155	△	第3段階目の解析を実施
													R6	△	補強案の作成、基本設計、補強計画策定の実施	29,700		
													R7	△	実施設計の実施			
													R8	○	改修工事の施工			
2	4	6	地籍調査事業(地籍整備の推進)	建設局 土木部	建設政策課	新規	土地の「地籍」を明確(土地境界情報のデジタル化)にし、社会资本整備や土地取引の円滑化を促進するとともに、大規模災害への対応力を強化する。	○	×	×	×	・優先調査地区(津波浸水想定区域)の完了(R11) ・継続地区の地籍調査の推進(R11)	R3	◎	地籍調査の実施	49,434	◎	地籍調査の実施
													R4	◎	地籍調査の実施	84,259	◎	地籍調査の実施
													R5	◎	地籍調査の実施	196,896	◎	地籍調査の実施
													R6	◎	地籍調査の実施	214,738		
													R7	◎	地籍調査の実施			
													R8	◎	地籍調査の実施			
2	4	7	ICT活用工事の推進	建設局 土木部	技術政策課	新規	3次元データやICT建設機械などのデジタル技術を活用した施工の効率化、生産性向上を目指す。	×	×	×	×	ICT活用工事の実績件数の増加(R3:1件→R8:10件)	R3	○	ICT活用工事試行	0	○	活用工事実績1件
													R4	○	ICT活用工事試行	0	○	活用工事実績2件
													R5	○	ICT活用工事促進	0	○	活用工事実績4件
													R6	○	ICT活用工事促進	0		
													R7	→	ICT活用工事促進			
													R8	→	ICT活用工事促進			
2	4	8	道路施設共通データベースシステム及び道路施設管理要望システムの更新事業	建設局 道路部	道路保全課	新規	R2から運用している、道路施設共通データベースシステム及び道路施設管理要望システムについて、R6で5年間目を迎えることから、運用5年間の評価・課題の把握を行い、今後のシステム運用について検討・更新を行う。	×	×	×	×	運用開始(R7)	R3	→	DB&要望システム運用(R2から継続)	2,500	→	DB&要望システム運用(R2から継続)
													R4	→	DB&要望システム運用(R2から継続)	2,500	→	DB&要望システム運用(R2から継続)
													R5	→	DB&要望システム運用(R2から継続)	2,500	→	DB&要望システム運用(R2から継続)
													R6	△	5年間の運用に伴う評価・課題の把握による今後の運用検討	10,000		
													R7	→	DB&要望システム運用(R7から継続)			
													R8	→	DB&要望システム運用(R7から継続)			
2	5	1	情報セキュリティの確保	企画局	システム管理課	継続	デジタル化の急速な進展に伴う状況の変化や複雑化・高度化する脅威へ対応するため、「静岡市情報セキュリティポリシー」に基づいた情報セキュリティ対策の継続的な実施及び状況に即した見直しを行うと共に、新たな脅威に関する情報収集や職員への研修を通じて情報セキュリティレベルの維持・向上を図る。	×	×	×	×	情報セキュリティに係る職員研修及び内部監査20所属以上、外部監査15所属以上の実施(毎年度)	R3	→	「静岡市情報セキュリティポリシー」に基づいたセキュリティ対策の実施	9,082	→	情報セキュリティ監査、eラーニング研修の実施、情報資産台帳の整備
													R4	→	「静岡市情報セキュリティポリシー」に基づいたセキュリティ対策の実施	8,992	→	情報セキュリティ監査、eラーニング研修の実施、情報資産台帳の整備
													R5	→	「静岡市情報セキュリティポリシー」に基づいたセキュリティ対策の実施	8,902	→	情報セキュリティ監査、eラーニング研修の実施、情報資産台帳の整備
													R6	→	「静岡市情報セキュリティポリシー」に基づいたセキュリティ対策の実施	8,924		
													R7	→	「静岡市情報セキュリティポリシー」に基づいたセキュリティ対策の実施			
													R8	→	「静岡市情報セキュリティポリシー」に基づいたセキュリティ対策の実施			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価		
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績
3	1	1	大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業	都市局 都市計画部	大谷・小鹿まちづくり推進課	継続	大谷・小鹿地区で進められている組合施行の土地区画整理事業に合わせ、デジタルデータを活用して新たな価値の創造や魅力の向上を図り、持続可能なまちづくりを推進する。	○	×	○	×	実行計画の策定(R7)	R3	—	—	—	—	
													R4	△	エリアプラットフォームの設立、地域課題の整理	6,600	△	大谷・小鹿まちづくり検討会議の設立
													R5	△	将来ビジョンの策定	6,050	△	大谷・小鹿周辺地区まちづくりビジョン(将来ビジョン編)の策定
													R6	△	実行計画の検討のためのニーズ把握	10,000		
													R7	△	実装に向けた実行計画の策定			
													R8	○	各種取組の実装検討(データ取得、運営方法を含む)			
3	1	2	スマートシティ推進事業(ワンストップ型デジタル行政サービス等推進事業)	企画局	デジタル化推進課	継続	※再掲						R3					
													R4					
													R5					
													R6					
													R7					
													R8					
3	2	1	デジタル技術を活用したエネルギーの最適化	環境局	環境創造課	継続	脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーや蓄電池などの分散型エネルギーソースを最大限活用するため、過去の気象情報や電力消費量などのビッグデータとデジタル技術を活用してエネルギーの最適化を図る。	○	○	○	×	・脱炭素先行地域内の温室効果ガス排出量:5,800t-CO2(R12) ・脱炭素先行地域に係る累計投資額:80億円以上(R12)	R3	—	—	—	—	
													R4	△	詳細設計、一部再エネ導入	158,040	△	予定通り事業を実施
													R5	○	詳細設計、一部再エネ導入、一部エリア整備完了	249,000	→	継続
													R6	○	再エネ導入、エネルギーマネジメントシステム構築	230,733		
													R7	○	再エネ導入、エネルギーマネジメントシステム構築			
													R8	◎	整備完了			
3	2	2	静岡市エネルギーの地産地消事業	環境局	環境創造課	継続	静岡市役所庁舎等の市有施設(279施設)が使用する電力を、静岡市の清掃工場(沼上清掃工場、西ヶ谷清掃工場)から発生する電力、固定価格買取制度の買取期間が満了を迎えた市内の太陽光発電の余剰電力(卒FIT電源)等によって賄うことで、エネルギーの地産地消を推進する。 また、地域の防災拠点となる静岡市内の小中学校(80校)に蓄電池を設置し、平常時は需給調整のために利用し、非常時には防災用電力として活用する。	×	×	○	×	事業完了(R6)	R3	→	事業実施	0	→	事業実施
													R4	→	事業実施	0	→	事業実施
													R5	→	事業実施	0	→	事業実施
													R6	→	事業実施、次期事業スキーム構築	0		
													R7	→	次期事業実施			
													R8	→	次期事業実施			
3	2	3	障がい者就労アセスメントモデル事業	保健福祉長寿局 健康福祉部	障害福祉企画課	継続	市内で就労を希望する障がい者について、客観的な就労アセスメントに有効なツールを活用し、アセスメント(能力・適性評価)から一般就労への移行及び定着支援まで、シームレスに支援するためのモデルを構築することで、障がい者本人の希望や就労能力等に応じた、より適切な障害福祉サービスや就労先につながりやすくなることを目指す。	○	×	×	×	アセスメント被検者に占める一般就労への移行者割合 40%(R6)	R3	—	検討前・未実施	0	—	検討前・未実施
													R4	△	本事業実施に向けた調査研究	0	△	R5の事業実施のための仕様書作成
													R5	◎	本事業実施	10,000	◎	本事業実施
													R6	◎	本事業実施、完了	10,000		
													R7	△	障がい福祉分野における予算計上(アセスメントツールの使用料や支援者の養成に要する経費に対する補助金等)について検討			
													R8	△	障がい福祉分野における予算計上(アセスメントツールの使用料や支援者の養成に要する経費に対する補助金等)について検討			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール		予算額 (千円)	事業評価		
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績
3	2	4	介護現場のDXを推進する事業	保健福祉長寿局 健康福祉部	介護保険課	継続	介護現場のDXを推進する事業を実施する。令和5年度は、実証フィールドとなる介護事業所を1事業所選定し、市や市が委託したコンサル等が伴走支援を行う。 また令和6年度以降は、介護現場で活用しやすい機器導入支援を実施し、令和7年度以降は、横展開を行っていく。	○	×	○	○	事業の実施と横展開	R3	—	検討前・未実施	0	—	検討前・未実施
													R4	△	調査・検討	0	△	調査・検討
													R5	◎	モデル事業の実施	2,000	◎	モデル事業の実施完了
													R6	→	機器導入支援の実施	8,400		
													R7	→	横展開			
													R8	→	横展開			
3	2	5	清水区脳梗塞予防実証実験	保健福祉長寿局 保健衛生医療部	保健衛生医療課	継続	静岡市と東京医科歯科大学、清水医師会の三者が連携して清水区でリモートテクノロジーとAIを活用した心房細動発症検知予測による脳梗塞予防の社会実装実験を実施する。	○	×	×	×	隠れ心房細動の発見人数	R3	◎	脳梗塞予防実証実験の実施、効果検証	28,030	◎	実証実験の運用開始
													R4	→	脳梗塞予防実証実験の実施、効果検証	27,530	→	実証実験の運用実施
													R5	→	脳梗塞予防実証実験の実施、効果検証	31,660	→	実証実験の運用実施
													R6	→	脳梗塞予防実証実験の実施、効果検証	31,660		
													R7	→	脳梗塞予防実証実験の実施、効果検証			
													R8	→	脳梗塞予防実証実験の実施、効果検証			
3	2	6	山間地域における遠隔医療	保健福祉長寿局 保健衛生医療部	保健衛生医療課	継続	山間地域の人口減に伴い山間地診療所の経営が悪化しており、現在の診療提供体制で将来にわたって安定的に医療を提供することが困難であることから、山間地域の住民への安定的な医療を提供するため、遠隔医療の活用について検討する。	×	×	○	×	遠隔医療の導入	R3	—	—		—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	△	遠隔医療の導入に向けた調査研究	1,650	△	山間地住民への医療に係るアンケート調査
													R6	△	オンライン健康相談の試行	200		
													R7	◎	遠隔医療の導入、運用			
													R8	→	遠隔医療の運用			
3	2	7	静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクトの推進	都市局 都市計画部	交通政策課	継続	静岡市地域公共交通網形成計画を推進するため、昨今のAIやIoTなどのICTを活用したMaaSシステムにより、多様な移動サービスを拡充・統合し、移動と活動(移動目的)をつなぎ、自家用車に代わり得る移動サービスの導入に取り組む。 MaaSの導入にあたっては、コンソーシアム「静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト」のもと、官民連携にて実証実験により社会受容性、有効性などの検証、課題に対する方策の検討や分析を行いながら、市民にとって利用しやすい移動サービスを目指す。 ※MaaS(=Mobility as a Service)とは、「出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに提供するなど、モビリティ全体を1つのサービスとして捉え、利用者にとっての一元的なサービスとして提供する概念・考え方」のこと。	○	○	○	○	・中山間地:地域内移動の一部実装(R8) ・市街地:AIオンデマンドの一部実装(R8)	R3	○	MaaS基幹実証プロジェクトでの実証実験 ・中山間地 地域内移動、遠隔買物 ・市街地 高齢者向AIオンデマンドタクシー	54,950	○	中山間地、市街地での実証実験の実施及び調査分析
													R4	○	MaaS基幹実証プロジェクトでの実証実験 ・中山間地 地域内移動と利用促進実証 ・市街地 サブスAIオンデマンドタクシー	42,700	○	中山間地、市街地での実証実験の実施及び調査分析
													R5	○	MaaS基幹実証プロジェクトでの調査分析 ・中山間地 地域内移動と利用促進実証 ・市街地 AIオンデマンドタクシー、自動運転	45,000	○	中山間地、市街地での実証実験の実施及び調査分析
													R6	○	実装に向けた地元協議(中山間地)	0		
													R7	○	一部実装(中山間地)			
													R8	○	実証継続・一部実装(市街地・郊外部)			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール			予算額 (千円)	事業評価	
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目	内容		進捗状況	事業実績
3	2	8	清水駅周辺地区次世代交通導入検討事業	都市局 都市計画部	交通政策課	継続	清水みなとまちづくりグランドデザイン・ガイドプラン等における次世代交通の提案に基づき、江尻地区・日の出地区を結び新しい交通サービスの調査検討及び次世代交通体験会を実施する。	○	×	○	×	海洋文化施設の開館に合わせた次世代交通の導入(R8)	R3	—	—	15,000	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	△	調査検討・次世代交通体験会の実施	0	△	自動運転に係る調査・試験走行を実施
													R6	→	自動運転走行実験の実施(国公募事業)			
													R7	→	自動運転走行実験の実施(国公募事業)			
													R8	○	一部実装			
3	2	9	オープンイノベーション創出事業の推進	経済局 商工部	産業振興課	継続	ペガサートビル7階にコ・クリエーションスペース(共創の場)を整備し、市内外の異なる立場の人々(企業、学生、行政等)が相互に交流し連携するイベントを通じてオープンイノベーションの創出を促進する。	○	×	×	×	プロジェクト創出数:5件(R5)	R3	→	静岡市コ・クリエーションスペースの企画運営	25,840	→	プロジェクト創出2件
													R4	→	静岡市コ・クリエーションスペースの企画運営	25,559	→	プロジェクト創出1件
													R5	→	静岡市コ・クリエーションスペースの企画運営	25,559	→	プロジェクト創出4件
													R6	→	静岡市コ・クリエーションスペースの企画運営	20,306		
													R7					
3	2	10	静岡県「災害時総合情報サイト」構築事業	危機管理総室	危機管理総室	継続	※再掲						R3					
													R4					
													R5					
													R6					
													R7					
													R8					
													R3					
													R4					
3	2	11	災害関連情報デジタル化対応策事業	危機管理総室	危機管理総室	新規	※再掲						R3					
													R4					
													R5					
													R6					
													R7					
													R8					
													R3					
													R4					
3	2	12	メタバースを活用した移住促進事業	企画局	企画課	継続	※再掲						R3					
													R4					
													R5					
													R6					
													R7					
													R8					
													R3					
													R4					
3	2	13	市立こども園ICT化事業	子ども未来局	こども園課	継続	※再掲						R3					
													R4					
													R5					
													R6					
													R7					
													R8					
													R3					
													R4					
3	2	14	児童相談体制強化事業	子ども未来局	児童相談所	継続	※再掲						R3					
													R4					
													R5					
													R6					
													R7					
													R8					
													R3					
													R4					
3	2	15	プレミアム付きデジタル商品券事業の実施・効果検証(旧デジタル地域通貨の導入検討)	経済局 商工部	商業労政課	継続	※再掲						R3					
													R4					
													R5					
													R6					
													R7					
													R8					
													R3					
													R4					

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価			
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績	
3	2	16	スマート水道メーターの導入検討・実証事業	上下水道局水道部	お客様サービス課	継続	※再掲					R3							
												R4							
												R5							
												R6							
												R7							
3	2	17	電子図書館の運営	教育局	中央図書館	継続	※再掲					R3							
												R4							
												R5							
												R6							
												R7							
3	2	18	災害時医療救護体制における連絡体制の確保	保健福祉長寿局保健衛生医療部	保健衛生医療課	新規	※再掲					R3							
												R4							
												R5							
												R6							
												R7							
3	2	19	静岡市中央卸売市場将来構想策定事業	経済局商工部	中央卸売市場	-	(DX導入可能性調査より、市場の本来機能・役割を継承・継承し、取扱数量の回復・押し上げを図る「将来構想」を策定予定のため、削除予定)	静岡市中央卸売市場の将来構想を策定する中で、今後の卸売市場の姿のひとつとして、デジタル技術導入により売買取引や場内動線の効率化を図るかDX導入可能性調査を行う。	×	×	×	×	-	R3					
									R4										
									R5										
									R6										
									R7										
3	3	1	オープンデータの推進	企画局	デジタル化推進課	継続	静岡市オープンデータカタログサイトについて、利用者が容易にデータを活用できるように機械判読可能なデータ形式へ見直しを進めるとともに自治体標準オープンデータセットを始めとした公開データの拡充を推進する。	×	○	×	×	自治体標準オープンデータセットの対応数:13種類(R8)	R3	→	各課データの情報収集及び公開、推奨データセットへの対応	1,484	→	各課データの情報収集及び公開、推奨データセットへの対応	
								R4	→	各課データの情報収集及び公開、推奨データセットへの対応	1,484	→	各課データの情報収集及び公開、推奨データセットへの対応						
								R5	→	各課データの情報収集及び公開、推奨データセットへの対応	1,484	→	各課データの情報収集及び公開、推奨データセットへの対応						
								R6	→	各課データの情報収集及び公開、推奨データセットへの対応	1,484								
								R7											
3	3	2	データ活用事例の創出検討	企画局	デジタル化推進課	継続	データの更なるデータ利用を促進すべく、ビッグデータを分析するためのシステムを導入し、データ活用事例の創出を図る。	×	×	×	○	分析システムを活用した案件数:10件(R5)	R3	-	-		-	-	
								R4	△	データ活用に向けた調査・検討	0	△	データ活用に向けた調査・検討						
								R5	○	検索サイト分析システム導入、ビッグデータの活用に向けた庁内の人材育成	1,458	○	システム導入、運用						
								R6	→	システム運用	1,546								
								R7											
R8																			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール		予算額 (千円)	事業評価			
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績	
3	3	3	オクシズ市営温泉デジタルマーケティング事業	経済局 農林水産部	中山間地振興課	継続	オクシズの交流促進に必要な来訪者の属性データ等の取得と分析を行い、効果的な資源の磨き上げやプロモーションの実施に繋げる。	○	×	×	×	オクシズ来訪者のニーズ把握の完了	R3	—	—	3,600	—	—	
													R4	—	—		—	—	
													R5	◎	交流促進関連データ分析		○	プレミアムパネル（エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社）を利用したニーズ把握を行うとともに、市営温泉に特化した特設サイトの開設・SNS広告での発信を行い、市営温泉への誘客を図った。	
													R6	→	プロモーション等の実施		0		
													R7	→	プロモーション等の実施				
													R8	→	プロモーション等の実施				
													R3	△	点群データ活用のケーススタディ		0	△	点群データ活用のケーススタディ
													R4	○	・3D都市モデルの構築（建物・地形等をモデル化、建物に属性情報付与、各種都市計画情報の重ね合わせ） ・点群データ活用のケーススタディ		12,000	○	・3D都市モデル構築完了。国土交通省に提出しオープンデータ化。 ・点群データ活用のケーススタディ
R5	◎	・各種災害ハザード情報の重ね合わせ（津波、洪水、内水、土砂災害情報等） ・点群データの公開、ケーススタディ	10,000	○	・各種災害ハザード情報の重ね合わせ完了 ・点群データ活用のケーススタディ														
R6	◎	課題解決に向けた試験的な社会実装	0																
R7	◎	社会課題解決への活用																	
R8	→	運用改善・機能追加																	
3	3	5	3次元データを活用したまちづくりの推進（静岡駅北口地上レーザ測量事業等）	都市局 都市計画部	市街地整備課	継続	3次元点群データを活用することにより、地上と地下が複雑に入り組んだ空間の把握が容易となることから、静岡駅北口の駅まち空間の現状把握と将来ビジョンの作成等に役立てることを目的とし、3次元測量を実施する。 また、取得した3次元点群データを合意形成等に活用するために、ビジュアライゼーションスキルを高めるための研修等を実施する。	×	○	○	×	・駅まち空間の点群データの取得完了 (R5) ・まちづくりへの活用 (R6)	R3	△	紺屋町名店街の点群データ取得	3,150	△	紺屋町点群データの取得	
													R4	○	静岡駅北口(地上部)等の点群データ取得	2,100	○	静岡駅北口(地上部)等の点群データの取得	
													R5	○	静岡駅北口(地下部)の点群データ取得 人材育成	0	○	静岡駅北口(地下部)の点群データ取得 人材育成	
													R6	◎	えきまち空間の在り方検討等、まちづくりへの活用、人材育成	0			
													R7	→	えきまち空間の在り方検討等、まちづくりへの活用、人材育成				
													R8	→	えきまち空間の在り方検討等、まちづくりへの活用、人材育成				
													R3						
													R4						
R5																			
R6																			
R7																			
R8																			
3	3	6	インフラ分野のDX推進事業	建設局 土木部	技術政策課	継続	※再掲					R3							
												R4							
												R5							
												R6							
												R7							
												R8							
3	3	7	人流データ活用検討事業	観光交流文化局 建設局道路部 企画局 経済局商工部	観光・MICE推進課 道路計画課 デジタル化推進課 商業労政課	継続	※再掲						R3						
													R4						
													R5						
													R6						
													R7						
													R8						
													R3						
													R4						
R5																			
R6																			
R7																			
R8																			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール			予算額 (千円)	事業評価	
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目	内容		進捗状況	事業実績
3	3	8	大学と連携したKDB(国保データベース)等の分析による糖尿病発症予防に向けた取組	保健福祉長寿局 健康福祉部	健康づくり推進課	新規	食生活・運動習慣等に関するアンケート調査の実施とKDBデータを活用した糖尿病に関する現状分析を行うことにより、効果的な普及啓発、対象を絞った効率的な保健事業など施策の見直しを行う。	○	×	○	○	反映施策数1件(R7)	R3	—	—	10,000	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	—	—		—	—
													R6	◎	アンケート調査データ分析		—	—
													R7					
													R8					
3	3	9	ブルートランスフォーメーション推進事業	経済局 海洋文化都市推進部	海洋文化都市政策課	新規	県・市が連携して進める駿河湾・清水港における海洋研究・海洋産業の拠点形成の中核的研究拠点として、域内の大学が連携協力してブルーエコノミー、特に海洋DXに特化した連合大学院を創設し、海洋DXのための情報・生物・物理科学の最先端の研究・教育を進めるとともに、その成果を活用した海洋関連産業の地域中核産業としての発展と、同産業に関連する就業者の増加、特に若者雇用の創出を目指す。	○	×	×	○	・地域中核産業(海洋関連産業)の総生産額の増加と同産業に関連する就業者の増加。(R15) ※達成目標については、内閣府(地方大学・地域産業創生交付金)の伴走支援の中で現在調整中	R3	—	—	0	—	—
													R4	—	—		—	—
													R5	△	検討		○	内閣府へ申請
													R6	○	事業実施			
													R7	○	事業実施			
													R8	○	事業実施			
3	3	10	災害時3次元点群データ活用業務	危機管理総室	危機管理総室	新規	※再掲						R3					
													R4					
													R5					
													R6					
													R7					
													R8					
3	3	11	統合型GISの導入	企画局	デジタル化推進課	新規	※再掲						R3					
													R4					
													R5					
													R6					
													R7					
													R8					
3	3	12	人流データの可視化	経済局 商工部	商業労政課	—	(別事業(人流データ活用検討事業)に統合のため、削除予定) ※再掲						R3					
													R4					
													R5					
													R6					
													R7					
													R8					

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール		予算額 (千円)	事業評価	
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況
4	1	1	中小企業のDX化に向けたIT活用支援	経済局 商工部	産業振興課	継続	・中小企業等DX支援事業 データ連携、分析手法、顧客管理及び営業支援等、専門家が企業の現場に入り、現状の課題の把握と、DX推進による課題解決のための伴走支援を実施する。 ・IT導入に向けた生産性向上支援事業 中+1604小企業の最大の経営課題である「人手不足」を解決するために、ITツールの導入を支援する相談体制(ワンドストップ相談窓口)を整え、企業の「生産性向上」の機運を高めていく。	○	○	×	×	・伴走支援事業者数:5件(R5)、20件(R6~) ・個別支援件数:200件(R5)	R3	◎ 中小企業等のDX化に係る伴走支援 中小企業等のデジタル化に係る相談窓口の設置及び専門家派遣	8,820	◎	支援事業者3者 個別支援件数337件
													R4	◎ 中小企業等のDX化に係る伴走支援 中小企業等のデジタル化に係る相談窓口の設置及び専門家派遣	14,520	○	支援事業者5者 個別支援件数282件
													R5	→ 中小企業等のDX化に係る伴走支援 中小企業等のデジタル化に係る相談窓口の設置及び専門家派遣	10,600	→	支援事業者5者 個別支援件数236件※12月末時点
													R6	→ 中小企業等のDX化に係る伴走支援 中小企業等のデジタル化に係る相談窓口の設置及び専門家派遣	24,900		
													R7				
													R8				
4	1	2	中小企業デジタル活用事業補助金	経済局 商工部	産業振興課	継続	ポストコロナにおいて、デジタル技術を積極的に活用して、販路開拓・拡大や管理業務の効率化を図る市内の中小企業を支援する。	×	×	×	×	デジタル機器導入による経営課題の解決件数 25件(R5)	R3	◎ 中小企業のデジタル化に係る補助金	30,000	◎	件数:74件、決算額:29,189千円
													R4	◎ 中小企業のデジタル化に係る補助金	30,000	◎	件数:72件、決算額:28,070千円
													R5	→ 中小企業のデジタル化に係る補助金	10,000	→	件数:29件
													R6	→ 中小企業のデジタル化に係る補助金	10,000		
													R7				
													R8				
4	1	3	スタートアップ協業等促進事業	経済局 商工部	産業振興課	継続	社会課題解決に資するスタートアップを対象に、市内での共創活動や実装に向けた取組みの伴走支援と活動環境整備をすとも、学生を中心とした次世代育成及びアントレプレナーシップの醸成により、市内の課題解決や新たな価値創出による地域経済活性化を図る。	○	×	×	×	共創プロジェクト数:5件(R6)	R3	—	0	—	—
													R4	—	0	—	—
													R5	○ スタートアップの成長支援	23,500	○	支援件数:5件
													R6	◎ スタートアップとの連携促進・社会実装にかかる伴走支援	230,000		
													R7				
													R8				
4	1	4	農業先端技術導入支援事業補助金	経済局 農林水産部	農業政策課	継続	スマート農業機器など、省力化や環境負荷低減に資する先端技術の導入実証に係る経費に対して支援する。	×	×	×	×	実証の実施件数:16件(R12)	R3	△ 大学機関などと事業についての検討	0	△	R4試行事業の構築
													R4	○ 委託による試行事業の実施	500	○	試行事業1件の実施
													R5	○ 補助事業としての事業開始	500	○	補助事業1件の実施(見込み)
													R6	→ 補助事業として支援	1,000		
													R7	→ 補助事業として支援			
													R8	→ 補助事業として支援			
4	1	5	ウェアラブル端末等を用いた糖尿病発症予防サービス導入支援の取組	保健福祉長寿局 健康福祉部	健康づくり推進課	新規	健康保険組合(企業)へのウェアラブル端末等を利用したサービスの導入支援により行動変容を促し、糖尿病関連データの改善を目指す。また、その取組結果のデータを分析し、糖尿病発症予防対策につなげる。	○	×	○	○	導入保険者(企業)数 3社(R9)	R3	—		—	—
													R4	—		—	—
													R5	—		—	—
													R6	◎ デジタルデバイスサービスの実装 データ分析	11,100		
													R7	→ デジタルデバイスサービスの実装 データ分析			
													R8	→ デジタルデバイスサービスの実装 データ分析			

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール		予算額 (千円)	事業評価			
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績	
4	1	6	越境EC導入支援事業	経済局 商工部	産業振興課	新規	越境ECモールの出店枠を確保し、越境ECに関心のある事業者による試験的な出店を行い、同時にアクセス分析などを行い、伴走支援により助言等を行い、越境ECでの販売促進を目指す。	○	×	×	×	越境ECモール出店事業者 5社	R3	—	—	0	—	—	
													R4	—	—	0	—	—	
													R5	—	—	0	—	—	
													R6	○	越境ECモール出展枠の確保及び伴走支援	5,000	○		
													R7						
													R8						
4	1	7	いきいき森林づくり推進事業	経済局 農林水産部	中山間地振興課	—	(林野庁ではICTなどの新技術を活用した「スマート林業」を推進しており、計測機器を搭載した高性能林業機械を用いた伐倒による木材の数量・形状等の情報把握もその一つであるが、当該補助事業においては、補助事業者からこれまで高性能的林業機械は求められておらず、この傾向は当分続くことが推測されるため、削除予定) 間伐の実施及び作業道開設、林業生産施設整備に関する経費に対する助成。 主に高性能林業機械の導入支援により伐採・運搬等業務の低コスト化を図り林業を効率化させる。	×	×	×	×	—	R3						
													R4						
													R5						
													R6						
													R7						
													R8						
4	2	1	お試しテレワーク体験事業	企画局	企画課	継続	静岡市の人口活力の維持及び持続可能なまちの実現に向け、首都圏企業社員及び個人事業者に対し、静岡市での施設利用料、宿泊費、旅費を一部補助する「お試しテレワーク体験事業」等を実施する。	○	×	×	×	参加者数 40名(R5)	R3	→	お試しテレワーク体験事業の実施	3,800	→	25社35名の参加	
													R4	→	お試しテレワーク体験事業の実施	6,680	→	45社65名の参加	
													R5	→	お試しテレワーク体験事業の実施	3,000	→	25社34名の参加(R6.1月末時点)	
													R6	→	お試しテレワーク体験事業の実施	1,500			
													R7	→	お試しテレワーク体験事業の実施				
													R8	→	お試しテレワーク体験事業の実施				
4	2	2	都市型産業立地促進事業	経済局 商工部	産業振興課	継続	デジタル技術等を有する県外企業(都市型産業)を対象に、静岡市内へのサテライトオフィス進出支援を行う。静岡県と連携した誘致活動、新規進出に対する助成「Move To しずおか」、誘致企業によるセミナー開催等により、企業の進出促進・定着を図る。	○	×	×	×	都市型産業立地件数: 10件(R8)	R3	→	企業誘致活動	12,539	→	サテライトオフィス立地5件	
													R4	→	企業誘致活動	7,665	→	サテライトオフィス立地5件	
													R5	→	企業誘致活動	3,054	→	サテライトオフィス立地9件	
													R6	→	企業誘致活動	2,795			
													R7	→	企業誘致活動				
													R8	→	企業誘致活動				

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標 または達成目標	スケジュール			予算額 (千円)	事業評価														
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目	内容		進捗状況	事業実績													
4	2	3	MoveToしずおか「新しいビジネス様式」支援事業	経済局 商工部	産業振興課	継続	静岡市にテレワーク拠点を整備したい県外企業を対象に、市内のシェアオフィス、コワーキングスペースの利用料、宿泊費、交通費を一部助成し、静岡市への企業誘致の推進を図る。	×	×	×	×	サテライトオフィス立地:20件	R3	→	首都圏企業の市内コワーキング等への新規進出にかかる補助金	10,720	◎	利用件数:5件													
													R4	→	首都圏企業の市内コワーキング等への新規進出にかかる補助金	6,000	◎	利用件数:5件													
													R5	→	首都圏企業の市内コワーキング等への新規進出にかかる補助金	1,800	◎	利用件数:9件													
													R6	→	首都圏企業の市内コワーキング等への新規進出にかかる補助金	1,800															
													R7																		
													R8																		
													4	3	1	光回線整備による未整備地域の解消、中山間地のデジタル支援	企画局	デジタル化推進課	継続	中山間地域にある光回線未整備地域を解消するため光回線を整備し、地域のインフラ機能を向上させる。また中山間地域にある光回線等を活用した事業を支援していく。	×	×	×	×	光回線等を活用した事業の支援	R3	◎	光回線整備	696,901	◎	光回線整備
																										R4	◎	光回線整備(西又)	7,700	◎	光回線整備(西又)
R5	→	情報収集等	0	→	情報収集等																										
R6	→	情報収集等	0																												
R7	→	情報収集等																													
R8	→	情報収集等																													
4	4	1	高齢者向けの情報リテラシー向上事業の実施	企画局	デジタル化推進課	継続	高齢者などのデジタル技術の利用に不安を感じる方々がデジタル社会の中で利便性を享受できるよう、支援が受けられる体制を構築するための人材育成に取り組むことで、情報リテラシーの向上を推進する。	×	○	×	×	講座実施回数														R3	◎	調査・検討、事業実施	3,000	◎	講座を全12回実施
																										R4	→	事業実施、支援体制の調査・検討	2,964	→	講座を30回程度実施
													R5	→	事業実施、支援体制の調査・検討	2,964	→	講座を32回実施													
													R6	→	事業の見直し・実施	244															
													R7	→	事業実施、実施内容の見直し・改善																
													R8	→	事業実施、実施内容の見直し・改善																
													4	4	2	生涯学習施設におけるデジタルデバイドの解消を目的とした講座等	市民局	生涯学習推進課	継続	・スマートフォン等の使い方に関する講座 社会における各種サービス等のデジタル化が進むことによる情報格差が生じることを防ぐため、生涯学習施設においてスマートフォン等のデジタルツールの活用に関する講座を開催する。 ・生涯学習施設でのモバイルWi-Fiルーター貸出事業 生涯学習施設でのオンライン講座や学習で使用するため、モバイルWi-Fiルーターの貸出しを行う。	×	×	×	×	・デジタルデバイドの解消に資する講座を32施設で実施 ・生涯学習施設でのモバイルWi-Fiルーター(8台)の効率的な貸出	R3	○	・デジタルデバイス解消に資する講座の開催 ・オンライン学習スペースでのWi-Fiルーターの貸出	74	○	①30施設で68講座を実施 ②3施設にオンライン学習スペースを設け貸出しを実施
																										R4	◎	・デジタルデバイス解消に資する講座の開催 ・生涯学習施設でのモバイルWi-Fiルーター(4台)の貸出	74	◎	①32施設で62講座を実施 ②12施設で延べ128回貸出
R5	→	・デジタルデバイス解消に資する講座の開催 ・生涯学習施設でのモバイルWi-Fiルーター(8台)の貸出	74	◎	①32施設で実施見込み ②11施設で延べ124回貸出(11月末時点)																										
R6	→	・デジタルデバイス解消に資する講座の開催 ・生涯学習施設でのモバイルWi-Fiルーター(8台)の貸出	148																												
R7	→	・デジタルデバイス解消に資する講座の開催 ・生涯学習施設でのモバイルWi-Fiルーター(8台)の貸出																													
R8	→	・デジタルデバイス解消に資する講座の開催 ・生涯学習施設でのモバイルWi-Fiルーター(8台)の貸出																													

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価					
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績			
5	1	1	デジタル人材の育成①(人事課)	総務局	人事課	継続	自発的に行政全般のデジタル化を検討できる職員の育成について、研修等を通じて行う。 【職員研修】 ・全ての職員のICTリテラシーの向上として、多くの職務がデジタルシフトする前提とした職員のマインドチェンジを行うため、人事課主催の階層別研修に取り入れていく。 ・「デジタル化推進課で実施する「BPR支援ツール」導入に伴い、同様の目的を持った係長3年目研修でも同じツールを使い研修を実施する。静岡市役所内で同じ方向性をもってすすめるよう、連携する。 ・人事課で実施する選択研修には、需要のある専門研修をデジタル化推進課と連携し、取り入れていく。	○	○	×	×	該当する研修を受講した結果、自らの行動や知識レベルが変化すると回答した人の割合：90%	R3	◎	選択研修においてEBPM研修の実施	137	◎	選択研修においてEBPM研修の実施			
													R4	◎	階層別研修(採用3年目、係長3年目)において、行政DXの研修を実施 選択研修においてEBPM研修、行政実務研修(Word・Excel)の実施		670	◎	階層別研修(採用3年目、係長3年目)において、行政DXの研修を実施 選択研修においてEBPM研修、行政実務研修(Word・Excel)の実施 職員の意識醸成を図るため、職員表彰の項目にデジタル関係の資格を追加		
													R5	→	階層別研修において行政DXの研修を実施(2つの階層を新規追加) 選択研修において、行政実務研修(Excel・マクロ)等を実施			1,110	→	階層別研修(採用3年目、主任主事級4年目、主査級3年目、係長3年目、局次長級)において、行政DXの研修を実施 選択研修において行政実務研修(Excel・マクロ)の実施	
													R6	→	階層別研修において行政DXの研修を実施 選択研修において、行政実務研修(Excel・マクロ)等、需要に応じた専門研修をDX推進課と連携し実施				1,550		
													R7	→	階層別研修において行政DXの研修を実施 選択研修において、行政実務研修(Excel・マクロ)等、需要に応じた専門研修をDX推進課と連携し実施						
													R8	→	階層別研修において行政DXの研修を実施 選択研修において、行政実務研修(Excel・マクロ)等、需要に応じた専門研修をDX推進課と連携し実施						
5	1	2	デジタル人材の育成②(デジタル化推進課・総務課)	企画局総務局	デジタル化推進課総務課	継続	・日々変化する社会課題へ柔軟に対応するために、所属の課題に寄り添い、外部アドバイザーによる相談の機会を設けて、デジタルツールを実施するなど、効果的かつ迅速に業務改革を実施する。(総務課・デジタル化推進課) ・全庁的なDXへの取組向け、DXに対する職員への意識改革が急務である。そのため、デジタル人材の育成に継続的に取り組むことで、DX推進に必要なデジタルに特化した人材を確保し、長期的かつ安定的なDXの推進につなげる。(デジタル化推進課)	○	○	×	×	DXリテラシー研修、BPR研修、専門研修の実施によるデジタル基礎能力の向上	R3	△	デジタル人材の育成について検討	0				△	デジタル人材の育成について検討
													R4	○	専門研修の実施		1,705			○	専門研修として、Excel研修、Word研修を実施
													R5	◎	DXリテラシー研修の実施 BPR研修の実施 専門研修の実施			8,377		○	DXリテラシー研修、BPR研修の実施、専門研修を実施
													R6	→	DXリテラシー研修(ワークショップ)の実施 業務改革相談会の実施 専門研修の実施						
													R7	→	DXリテラシー研修の実施 BPR研修の実施 専門研修の実施						
													R8	→	DXリテラシー研修の実施 BPR研修の実施 専門研修の実施						
5	1	3	専門デジタル人材の確保の検討	企画局	デジタル化推進課	継続	今後のデジタル化施策の推進にあたり、支援が必要な専門デジタル人材についての確保を図っていきます。なお、確保手法については、分野により検討するものとして、他市で行っているフェロー制度や顧問、講師での招聘などにより支援を仰ぐ人材ごとに対応を検討していきます。	×	×	×	×	専門デジタル人材の確保の検討	R3	△	専門デジタル人材の確保について検討	△			△	専門デジタル人材の確保について検討	
													R4	△	専門デジタル人材の確保について検討		△		△	専門デジタル人材の確保について検討	
													R5	△	専門デジタル人材の確保について検討			△	△	専門デジタル人材の確保について検討	
													R6	◎	専門デジタル人材の登用						
													R7								
													R8								

【項目及び進捗状況のステータス】
 △:調査・検討 ○:実証(一部実施) ◎:本番導入・完了 →:継続

大項目	中項目	小項目	取組事項	担当局・部	担当課	新規継続	取組内容	取組事項に関連する計画・事業				成果指標または達成目標	スケジュール		予算額(千円)	事業評価																
								4次総	行革大綱	スマートシティ	研究会PT		年度	項目		内容	進捗状況	事業実績														
5	1	4	インフラ分野のDX推進事業	建設局 土木部	技術政策課	継続	※再掲						R3																			
													R4																			
													R5																			
													R6																			
													R7																			
5	1	5	災害時3次元点群データ活用業務	危機管理総室	危機管理総室	新規	※再掲						R3																			
													R4																			
													R5																			
													R6																			
													R7																			
5	2	1	GIGAスクール構想の推進(小中学校におけるICT教育環境整備)	教育局	教育センター	継続	1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現することにより、教員・児童生徒の力を最大限に引き出す。	○	×	×	×	・全国学力・学習状況調査で「学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」と回答した割合 小学校6年生:100% 中学校3年生:100%	R3	→	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末(小3)、指導者用端末の配備 ・ICT支援員の配置 ・ネットワーク増強 ・教員研修 	809,444	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・端末4863台配備 ・65校ネットワーク増強 ・120校ICT支援員配置 ・研修会の実施 ・情報教育推進研究会(7回) ・情報教育担当者会(6回) 														
													R4	→	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末(小1・2)、指導者用端末の配備 ・ICT支援員及びヘルプデスクの配置 ・自宅に無線NWのない児童生徒への学習用モバイルWi-Fiルータ貸与 ・学習者用端末故障対応 ・ネットワーク増強 ・教員研修 	311,935	○	<ul style="list-style-type: none"> ・端末9534台配備 ・120校ICT支援員配置 ・運営支援センターの開設 ・研修会の実施 ・情報教育推進研究会(7回) ・情報教育担当者会(6回) 														
													R5	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員及びヘルプデスク配置 ・自宅に無線NWのない児童生徒への学習用モバイルWi-Fiルータ貸与 ・学習者用端末故障対応 ・ネットワーク増強対応 ・教員研修 	252,970	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員及びヘルプデスク配置 ・自宅に無線NWのない児童生徒への学習用モバイルWi-Fiルータ貸与 ・学習者用端末故障対応 ・ネットワーク増強対応 ・教員研修 														
													R6	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員及びヘルプデスクの設置 ・家庭学習用モバイルWi-Fiルータ及びSIMカードの貸与 ・学習者用端末の故障対応 	105,600																
													R7																			
													R8																			
													5	2	2	電子図書館の運営	教育局	中央図書館	継続	※再掲						R3						
																										R4						
																										R5						
																										R6						
R7																																
R8																																